

文京学院大学学則

第 1 章 総 則

(目 的)

第 1 条 文京学院大学（以下「本学」という。）は、「自立と共生」の建学の精神に則り、教育基本法ならびに学校教育法に基づき、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、社会の発展に寄与するこころ豊かな人間の育成を目的とする。

2 大学設置基準の趣旨に沿い、各学部学科において以下の人材養成を目指す。

学 部	学 科	目標とする人材
経営学部	経営コミュニケーション学科	主体的に考え自律的に行動し、持続可能な社会への変革に挑戦するクリエイティブでロジカルなイノベーター人材の育成
	マーケティング・デザイン学科	「マーケティング」、「コンテンツ・デザイン」、「デジタル」の3つのエリアを融合させ、新しい社会のニーズに応えられる、デジタル経済の担い手となるような人材の育成
人間学部	コミュニケーション社会学科	人間と人間、人間と社会、人間と自然との共生をコミュニケーションという観点から捉え、共生社会実現のための豊かな感性、総合的な理解力、具体的な実践力を育成し、社会に貢献できる人材の養成
	児童発達学科	子どもたちの心と体の成長を確かな技術で受け止め、やわらかな感性をもとに、支え、育み、細分化するニーズに的確に応えられる、保育者・教育者の養成
	人間福祉学科	子どもや高齢者、心身に障害がある人、生活上の問題を抱える人など他者の助けを必要とする多くの人々に対してあたたかなまなざしとともに、的確な知識と技術を持って接することができるスペシャリストの養成
	心理学科	広範な知識をもとに、人と社会のあるべき姿を考え、心理学的な視点から現代社会の諸問題に専門性の高いアプローチができる人材の養成
外国語学部	英語コミュニケーション学科	国際語である英語の実践能力の涵養を図るとともに、国際関係や異文化理解など幅広い教養を培い、IT活用能力を高め、将来、多様な環境の中で、社会に貢献できる“人間力”を備えた人材の養成
保健医療技術学部	理学療法学科	チーム医療と根拠ある理学療法を基盤に、心の不安も含めて理解することができ、高い科学的思考力と確実に施行できる専門技術を併せもち、かつ将来にわたって熱意をもち続ける理学療法士の養成
	作業療法学科	「自立と共生」の理念のもと、高い倫理観をもち、自らの自律を求め、保健・医療・福祉・教育・職業分野において、対象者に作業療法を実践することで、それらの人々の生活を支援することができる人材の育成

	臨床検査学科	検査に関する知識と技能を習得し、現代の医療における臨床検査の立場を熟知し、医療人としての倫理観を身につけた明日の医療を支える一員となり得る人材の養成
	看護学科	豊かな人間性と高い倫理観、コミュニケーション能力を備えた優れた看護専門職者として、看護実践能力を身につけ、チーム医療の中で専門性を発揮し、グローバルな視点から健康問題を捉え、多様な職種の人々と連携・協働できる人材の育成

(自己評価等)

第 2 条 本学は、教育研究水準の向上を図り、前条に定める目的および社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検および評価を行う。

2 前項の点検および評価を行うに当たっての項目ならびに実施体制等については、別に定める。

第 2 章 基 本 組 織

(大学院・学部・学科および学生定員)

第 3 条 本学は、大学院および学部をもって組織する。

2 本学に設置する学部、学科、専攻および学生定員は次のとおりとする。

学 部	学 科・専 攻	入学定員	収容定員
経営学部	経営コミュニケーション学科	1 3 0 名	1, 0 4 0 名
	マーケティング・デザイン学科	1 3 0 名	
人間学部	コミュニケーション社会学科	6 0 名	2 4 0 名
	児童発達学科	1 3 0 名	5 2 0 名
	人間福祉学科 (内、介護福祉コース)	1 1 0 名 (3 0 名)	4 4 0 名 (1 2 0 名)
	心理学科	1 0 0 名	4 0 0 名
外国語学部	英語コミュニケーション学科	2 6 0 名	1, 0 4 0 名
	国際ビジネスコミュニケーション専攻		
	国際教養コミュニケーション専攻		
保健医療技術学部	理学療法学科	8 0 名	3 2 0 名
	作業療法学科	4 0 名	1 6 0 名
	臨床検査学科	8 0 名	3 2 0 名
	看護学科	1 0 0 名	4 0 0 名

3 大学院に関する学則は、別に定める。

第 3 章 職 員 組 織

(職 員)

第 4 条 本学に、学長、研究科委員長、学部長を置く。なお、必要に応じて、副学長を置くことができる。

2 本学に、教授、准教授、助教、助手を置く。

3 本学に、事務職員およびその他必要な職員を置く。

4 職員は、それぞれの職務に従事する。

(1) 学長は、校務全般を掌り、所属職員を統督する。また、教育研究に関する重要事項については教授会の意見を聞いて決定する。

(2) 副学長は、学長を補佐し、また、学長の指示を受けた範囲において自らの権限で公務を処理する。学長は指示の範囲を文書で明確にする。

(3) 研究科委員長は、学長を補佐し、当該研究科の諸事項を管掌する。

(4) 学部長は、学長を補佐し、当該学部の諸事項を管掌する。

(5) 教授は、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。

(6) 准教授は、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。

(7) 助教は、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。

(8) 助手は、所属組織の教育研究の円滑な実施に必要な業務を行う。

(9) 事務職員および必要な職員は、大学の事務全般を掌る。

(10) 介護福祉士養成施設の職員組織については、特則で規定する。

第 4 章 大学運営会議

(大学運営会議)

第 5 条 大学は、大学の重要事項を審議するため、大学運営会議を置く。

2 学長は、大学運営会議を招集し、その議長となる。

(大学運営会議の組織)

第 6 条 大学運営会議は、理事長、学長、副学長、研究科委員長、学部長、教務部長、学生部長、学長補佐、法人事務局長、法人副事務局長、大学事務局長（統括ディレクター）、キャンパスディレクターをもって組織する。

2 大学運営会議委員の任期、大学運営会議の運営方法、定足数および議決方法その他については、別に定める。

(審議事項)

第 7 条 大学運営会議は、次の事項を審議する。

(1) 全学部・全研究科の教育課程の編成に関する全学的な方針の策定

(2) 学則その他重要な規則の制定改廃に関する事項

(3) 教員人事に関する事項

(4) 大学院、学部、学科その他重要な研究機関の設置・廃止に関する事項

(5) 学生定員に関する事項

(6) 学生の身分に関する事項

(7) 大学院、学部その他の機関の連絡調整に関する事項

(8) 学長が委嘱した事項

(9) その他大学の運営に関する重要な事項

第 5 章 教 授 会

(教授会)

第 8 条 大学および各学部、に、重要事項を審議するため、教授会を必ず置く。

2 学長は全学教授会を召集し、その議長となる。学部長は各学部の教授会を召集し、その議長となる。

3 教授会は、教育研究に関する事項について審議する機関であり、決定権者である学長に対して意見を述べる機関である。

(教授会の組織)

第 9 条 教授会は、教授をもって組織する。

2 前項の規定にかかわらず、教授会が必要と認める場合は、准教授、助教を加えることができる。

3 学院長、副学長、学長補佐および法人事務局長、統括ディレクター（大学事務局長）は、教授会に出席して意見を述べるができる。

4 教授会の運営方法、定足数および議決方法その他については、別に定める。

(審議事項)

第 10 条 教授会は、次の事項を審議し、学長が決定を行うにあたり意見を述べる。

1) 学生の入学、編入学、転入学、再入学、休学、留学、転学、転学部、転学科、退学、除籍、卒業及び課程の修了に関する事項

2) 学位の授与に関する事項

3) 学長が定める事項

※「学校教育法第 93 条 2 項 3 号の学長が定める事項」については、別途学長裁定規程として定める。

2 教授会は、次の事項を審議し、学長等（学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長）から求められた場合、意見を述べる。

1) 科目等履修生、聴講生、研究生、外国人留学生に関する事項

2) 学生団体および学生の生活指導に関する事項

3) 学生の賞罰に関する事項

4) その他教育研究に関する事項

第 6 章 修業年限および在学年限

(修業年限)

第 11 条 本学の修業年限は、4 年とする。

2 学生は、8 年を超えて在学することはできない。

3 長期履修学生として認定を受けた者は、前項の規定は適用しない。

4 第 1 項の規定にかかわらず飛び級による早期卒業を認める。

第 7 章 学年、学期および休業日

(学 年)

第 12 条 学年は、4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

(学 期)

第13条 学年を分けて、次の2期とする。

前期 4月1日から9月30日まで 後期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第14条 休業日は次のとおりとする。

(1) 日曜日

国民の祝日に関する法律に規定する休日

学院創立記念日 10月23日

(2) 夏季・冬季・春季の休業日については、各学部、学科、研究科等の学年暦で示すものとする。

(3) 夏季・冬季・春季等の休業日に各種実習を行うことがある。

(4) 学長が必要と認めるときは、前項の休業日を臨時に変更し、または臨時の休業日を定めることができる。

第 8 章 教育課程および履修方法等

(授業科目)

第15条 経営学部経営コミュニケーション学科の授業科目を分けて、教養科目、語学科目、キャリア科目、学部共通科目、学科専門科目（基礎・基幹）、学科専門科目（発展）、留学科目とする。

さらに、教養科目を分けて大学特別科目および教養科目とする。また、語学科目を分けて外国語科目および留学生科目とする。学科専門科目（基礎・基幹）を分けて、経営、会計・税務、経済・金融・法とする。学科専門科目（発展）を分けて、経営、会計・税務、経済・金融・法、フィールドワーク、演習とする。

(1) 授業科目の種類および単位数は、別表のとおりとする。

(2) 前号に定めるもののほか、必要に応じて特定の授業科目を設けることがある。

2 経営学部マーケティング・デザイン学科の授業科目を分けて、教養科目、語学科目、キャリア科目、学部共通科目、学科専門科目（基礎・基幹）、学科専門科目（発展）、留学科目とする。

さらに、教養科目を分けて大学特別科目および教養科目とする。また、語学科目を分けて外国語科目および留学生科目とする。学科専門科目（基礎・基幹）を分けて、経営、会計・税務、経済・金融・法とする。学科専門科目（発展）を分けて、経営、会計・税務、経済・金融・法、フィールドワーク、演習とする。

(1) 授業科目の種類および単位数は、別表のとおりとする。

(2) 前号に定めるもののほか、必要に応じて特定の授業科目を設けることがある。

3 人間学部コミュニケーション社会学科の授業科目を分けて、大学特別科目、学部共通科目、学科基礎科目、専門科目、専門実践科目、専門関連科目および海外留学科目とする。

(1) 授業科目の種類および単位数は、別表のとおりとする。

(2) 前号に定めるもののほか、必要に応じて特定の授業科目を設けることがある。

4 人間学部児童発達学科の授業科目を分けて、大学特別科目、学部共通科目、卒業研究、保育・教育専門科目および海外留学科目とする。

- (1) 授業科目の種類および単位数は、別表のとおりとする。
 - (2) 前号に定めるもののほか、必要に応じて特定の授業科目を設けることがある。
 - (3) 児童発達学科においては、幼稚園教諭一種免許の教職課程ならびに保育士資格の養成課程を受けることができる。授業科目の履修方法については、別表のとおりとする。
 - (4) 児童発達学科においては、小学校教諭一種免許の教職課程を受けることができる。授業科目の履修方法については、別表のとおりとする。
- 5 人間学部人間福祉学科の授業科目を分けて、大学特別科目、学部共通科目、卒業研究、人間福祉基礎科目、社会福祉専門科目、精神保健福祉専門科目、介護福祉専門科目、人間福祉関連科目、福祉マネジメント科目および海外留学科目とする。
- (1) 授業科目の種類および単位数は、別表のとおりとする。
 - (2) 前号に定めるもののほか、必要に応じて特定の授業科目を設けることがある。
 - (3) 人間福祉学科においては、社会福祉士、精神保健福祉士の受験資格を得ることができる。授業科目の履修方法については、別表のとおりとする。
 - (4) 介護福祉コースの養成課程の指定科目および履修方法等については、特則で規定する。
- 6 人間学部心理学科の授業科目を分けて、大学特別科目、学部共通科目、専門演習、専門基礎科目、専門科目および海外留学科目とする。
- (1) 授業科目の種類および単位数は、別表のとおりとする。
 - (2) 前号に定めるもののほか、必要に応じて特定の授業科目を設けることがある。
 - (3) 心理学科においては、公認心理師の受験資格を得るために学部で修得すべき科目を履修することができる。授業科目の履修方法については、別表のとおりとする。
- 7 外国語学部英語コミュニケーション学科国際ビジネスコミュニケーション専攻の授業科目を分けて、大学特別科目、英語コミュニケーション科目、基礎総合力科目、専門科目、実務資格科目、留学科目、教職課程科目および外国人交換留学科目とする。
- (1) 授業科目の種類および単位数は、別表のとおりとする。
 - (2) 前号に定めるもののほか、必要に応じて特定の授業科目を設けることがある。
 - (3) 外国語学部英語コミュニケーション学科国際ビジネスコミュニケーション専攻においては、高等学校教諭一種免許（英語）ならびに中学校教諭一種免許（英語）を受けることができる。授業科目の履修方法については、別表のとおりとする。
 - (4) 留学特待生プログラムの履修方法等については、特則で規定する。
- 8 外国語学部英語コミュニケーション学科国際教養コミュニケーション専攻の授業科目を分けて、大学特別科目、英語コミュニケーション科目、基礎総合力科目、専門科目、実務資格科目、留学科目、教職課程科目および外国人交換留学科目とする。
- (1) 授業科目の種類および単位数は、別表のとおりとする。
 - (2) 前号に定めるもののほか、必要に応じて特定の授業科目を設けることがある。
 - (3) 外国語学部英語コミュニケーション学科国際教養コミュニケーション専攻においては、高等学校教諭一種免許（英語）ならびに中学校教諭一種免許（英語）を受けることができる。授業科目の履修方法については、別表のとおりとする。
 - (4) 留学特待生プログラムの履修方法等については、特則で規定する。
- 9 保健医療技術学部理学療法学科の授業科目を分けて、基礎分野、専門基礎分野、専門分野とする。

- (1) 授業科目の種類および単位数は、別表のとおりとする。
- (2) 前号に定めるもののほか、必要に応じて特定の授業科目を設けることがある。
- (3) 授業科目の履修方法については、別表のとおりとする。
- (4) 保健医療技術学部理学療法学科においては、理学療法士の国家試験受験資格を得ることができる。授業科目の履修方法については別表のとおりとする。

1 0 保健医療技術学部作業療法学科の授業科目を分けて、基礎分野、専門基礎分野、専門分野とする。

- (1) 授業科目の種類および単位数は、別表のとおりとする。
- (2) 前号に定めるもののほか、必要に応じて特定の授業科目を設けることがある。
- (3) 授業科目の履修方法については、別表のとおりとする。
- (4) 保健医療技術学部作業療法学科においては、作業療法士の国家試験受験資格を得ることができる。授業科目の履修方法については別表のとおりとする。

1 1 保健医療技術学部臨床検査学科の授業科目を分けて、基礎分野、専門基礎分野、専門分野とする。

- (1) 授業科目の種類および単位数は、別表のとおりとする。
- (2) 前号に定めるもののほか、必要に応じて特定の授業科目を設けることがある。
- (3) 授業科目の履修方法については、別表のとおりとする。
- (4) 保健医療技術学部臨床検査学科においては、臨床検査技師の国家試験受験資格を得ることができる。授業科目の履修方法については別表のとおりとする。

1 2 保健医療技術学部看護学科の授業科目を分けて、基礎分野、専門基礎分野、専門分野とする。

- (1) 授業科目の種類および単位数は、別表のとおりとする。
- (2) 前号に定めるもののほか、必要に応じて特定の授業科目を設けることがある。
- (3) 授業科目の履修方法については、別表のとおりとする。
- (4) 保健医療技術学部看護学科においては、看護師の国家試験受験資格を得ることができる。授業科目の履修方法については別表のとおりとする。
- (5) 保健医療技術学部看護学科においては、保健師の国家試験受験資格を得ることができる。授業科目の履修方法については別表のとおりとする。

1 3 Bunkyo GCI の授業科目を分けて、英語科目群、共通科目群、学部発展科目群、キャリア科目群、短期海外研修とする。授業科目の履修方法は別に定める。

- (1) 授業科目の種類および単位数は、別表のとおりとする。
- (2) 前号に定めるもののほか、必要に応じて特定の授業科目を設けることがある。

Bunkyo GCI は、学部横断型の取組であり、教育課程その他学部との調整等が必要な場合は、協議するものとする。決議については GCI を優先する。

(1 年間の授業期間)

第 1 6 条 1 年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35 週にわたることを原則とする。

(単位の計算方法)

第 1 7 条 各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義については、15時間から30時間までの範囲で大学が定める授業時間をもって1単位とする。
- (2) 演習については、15時間から30時間までの範囲で大学が定める授業時間をもって1単位とする。
- (3) 実験、実習および実技については、30時間から45時間までの範囲で大学が定める授業時間をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作、インターンシップ等の授業科目については、これらの学習の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合にはこれらに必要な学修等を考慮して、単位を定めることができる。

(単位の授与)

第18条 授業科目を履修し認定された者には、所定の単位を与える。

- 2 単位取得の認定は、試験、論文、その他の方法によるものとする。
- 3 介護福祉コースの単位の授与については、特則で規定する。

(学部・学科間の科目履修)

第19条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が相互に他の学部において履修した授業科目について修得した単位を、第20条、第21条、第22条で取得する単位と合わせて30単位を超えない範囲で、当該学部・学科における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の単位を超えない範囲で教職免許取得に必要な科目についても他学部・他学科の授業科目を履修し、要件を満たせば教職課程を受けることができる。

(他の大学または短期大学における授業科目の履修等)

第20条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が他の大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、30単位を超えない範囲で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、学生が外国の大学または短期大学に留学する場合に準用する。
- 3 外国語学部英語コミュニケーション学科の留学特待生プログラムの履修生については、他の大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、第19条、第21条、第22条で取得する単位と合わせて40単位を超えない範囲で、当該学部・学科における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

(大学以外の教育施設等における学修)

第21条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う、短期大学のまたは高等専門学校の専攻科における学修、その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位数の認定)

第22条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学または短期大学等で修得した単位を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単

位を与えることができる。

- 3 前2項により修得したものとみなし、または与えることのできる単位数は、編入学、転入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて30単位を超えないものとする。
- 4 編入学、転入学の場合に与えることのできる単位数は、学生が本学に入学する前に大学または短期大学等で取得した単位を本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、62単位を限度に認定する。

(学修の評価)

第23条 学修の評価は、秀、優、良、可および不可とし、秀、優、良、可を合格とし、不可を不合格とする。

2 評価の基準については、別に定める。

第9章 卒業の要件等

(卒業の要件)

第24条 本学経営学部経営コミュニケーション学科を卒業するためには、本学に4年以上在学し、次の各号に定めるところにより、124単位以上を修得しなければならない。

- (1)教養科目群より必修科目2単位、選択科目8単位以上
- (2)語学科目群より必修科目6単位、選択科目6単位以上
- (3)キャリア科目群より必修科目2単位、選択科目4単位以上
- (4)学部共通科目群より必修科目18単位、選択科目14単位以上
- (5)学科専門科目(基礎・基幹)群より選択科目30単位以上
- (6)学科専門科目(発展)群より選択科目34単位以上

※「専門演習(3年)」「専門演習(卒業研究)」を履修しない学生については、「キャリアアメンタリング演習Ⅰ」ならびに「キャリアアメンタリング演習Ⅱ」を必ず履修することとする。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

各号の科目の履修方法については、別に定める。

2 本学経営学部マーケティング・デザイン学科を卒業するためには、本学に4年以上在学し、次の各号に定めるところにより、124単位以上を修得しなければならない。

- (1)教養科目群より必修科目2単位、選択科目8単位以上
- (2)語学科目群より必修科目6単位、選択科目6単位以上
- (3)キャリア科目群より必修科目2単位、選択科目4単位以上
- (4)学部共通科目群より必修科目18単位、選択科目14単位以上
- (5)学科専門科目(基礎・基幹)群より選択科目4科目以上8単位以上
- (6)学科専門科目(発展)群より選択科目56単位以上(「マーケティング」「デジタル」「コンテンツ・デザイン」の区分より最低1科目取得)

※「専門演習(3年)」「専門演習(卒業研究)」を履修しない学生については、「キャリアアメンタリング演習Ⅰ」ならびに「キャリアアメンタリング演習Ⅱ」を必ず履修することとする。

各号の科目の履修方法については、別に定める。

3 本学人間学部コミュニケーション社会学科を卒業するためには、本学に4年以上在学し、大学特別科目、学部共通科目、学科基礎科目、専門科目、専門実践科目、専門関連

科目および海外留学科目の中から、必修を含め124単位以上を修得しなければならない。

各科目群の科目の履修方法については、別に定める。

- 4 本学人間学部児童発達学科を卒業するためには、本学に4年以上在学し、大学特別科目、学部共通科目、卒業研究、保育・教育専門科目および海外留学科目の中から、必修を含め124単位以上を修得しなければならない。

各科目群の科目の履修方法については、別に定める。

- 5 本学人間学部人間福祉学科を卒業するためには、本学に4年以上在学し、大学特別科目、学部共通科目、卒業研究、人間福祉基礎科目、社会福祉専門科目、精神保健福祉専門科目、介護福祉専門科目、人間福祉関連科目、福祉マネジメント科目および海外留学科目の中から、必修を含め、124単位以上を修得しなければならない。

各科目群の科目の履修方法および介護福祉コースの卒業の要件については、別に定める。

- 6 本学人間学部心理学科を卒業するためには、本学に4年以上在学し、大学特別科目、学部共通科目、専門演習、専門基礎科目、専門科目および海外留学科目の中から、必修を含め、124単位以上を修得しなければならない。

各科目群の科目の履修方法については、別に定める。

- 7 本学外国語学部英語コミュニケーション学科国際ビジネスコミュニケーション専攻を卒業するためには、本学に4年以上在学し、大学特別科目、英語コミュニケーション科目、基礎総合力科目、専門科目、実務資格科目、留学科目、教職課程科目および外国人交換留学科目の中から、必修を含め128単位以上を修得しなければならない。各科目群の科目の履修方法および留学特待生プログラムの卒業の要件については、別に定める。

- 8 本学外国語学部英語コミュニケーション学科国際教養コミュニケーション専攻を卒業するためには、本学に4年以上在学し、大学特別科目、英語コミュニケーション科目、基礎総合力科目、専門科目、実務資格科目、留学科目、教職課程科目および外国人交換留学科目の中から、必修を含め128単位以上を修得しなければならない。各科目群の科目の履修方法および留学特待生プログラムの卒業の要件については、別に定める。

- 9 本学保健医療技術学部理学療法学科を卒業するためには、本学に4年以上在学し、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の各分野にわたり、必修を含め、125単位以上を修得しなければならない。各科目分野の科目の履修方法および理学療法士の国家試験の受験資格の要件については、別に定める。

- 10 本学保健医療技術学部作業療法学科を卒業するためには、本学に4年以上在学し、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の各分野にわたり、必修を含め、127単位以上を修得しなければならない。各科目分野の科目の履修方法および作業療法士の国家試験の受験資格の要件については、別に定める。

- 11 本学保健医療技術学部臨床検査学科を卒業するためには、本学に4年以上在学し、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の各分野にわたり、必修を含め、128単位以上を修得しなければならない。各科目分野の科目の履修方法および臨床検査技師の国家試験の受験資格の要件については、別に定める。

- 12 本学保健医療技術学部看護学科を卒業するためには、本学に4年以上在学し、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の各分野にわたり、必修を含め、128単位以上を修得しなければならない。各科目分野の科目の履修方法および看護師及び保健師の国家試験の受験資格

の要件については、別に定める。

13 飛び級による早期卒業認定の、在学年限、卒業要件については、別に定める飛び級による早期卒業に関する規定による。

14 授業は、講義、演習、実験、実習、実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。この授業は多様なメディアを高度に利用して当該授業を行う教室以外の場所（遠隔授業）で履修させることができる。その修得単位は60単位を超えない範囲で卒業に必要な単位とすることができる。

（卒業の認定）

第25条 前条に定める卒業の要件をみたした者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

2 学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書・学位記を授与する。

（学士の学位の授与）

第26条 学長は、卒業を認定した者には、次の区分により学士の学位を授与する。

学 部	学科・専攻		学 位
経営学部	経営コミュニケーション学科		学士（経営学）
経営学部	マーケティング・デザイン学科		学士（経営学）
人間学部	コミュニケーション社会学科		学士（人間学）
人間学部	児童発達学科		学士（教育学）
人間学部	人間福祉学科		学士（社会福祉学）
人間学部	心理学科		学士（心理学）
外国語学部	英語コミュニケーション学科	国際ビジネスコミュニケーション専攻	学士 (コミュニケーション)
		国際教養コミュニケーション専攻	
保健医療技術学部	理学療法学科		学士（理学療法学）
保健医療技術学部	作業療法学科		学士（作業療法学）
保健医療技術学部	臨床検査学科		学士（臨床検査学）
保健医療技術学部	看護学科		学士（看護学）

2 その他学位に関する事項は、別に定める学位規程による。

第10章 入学、編入学 等

（入学の時期）

第27条 入学の時期は、学年の始めとする。

（入学資格）

第28条 本学に入学することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者
- (7) 相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると、本学が認めた者
- (8) 介護福祉コースの入学資格等については、特則で規定する。

（入学出願手続）

第29条 本学に入学を志願する者は、次の書類に検定料を添えて、所定の期日までに提出しなければならない。

- (1) 本学所定の入学願書
- (2) 卒業または卒業見込証明書、もしくはその他入学資格を証明する書類
- (3) 出身校の調査書

（入学者の選考）

第30条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

（入学手続）

第31条 前条の選考に合格した者は、別に定めるところにより、入学金を添えて入学の手続をしなければならない。

（入学許可）

第32条 学長は、前条の入学手続を完了した者に入学を許可する。

（編入学）

第33条 次の各号の一に該当する者で、本学への入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、別に定めるところにより、選考の上、相当年次に入学を許可することができる。

- (1) 大学を卒業した者または中途退学した者
- (2) 短期大学を卒業した者または高等専門学校を卒業した者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第92条の3に規定する者
- (4) 学校教育法施行規則（平成10年文部省令第33号）第77条の8第2項に規定する者

（転入学）

第34条 他の大学に在学している者で、当該大学長の同意を得て、本学への入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り選考の上、相当年次に入学を許可することができる。

（再入学）

第35条 第40条の規定により、退学を許可された者で、同一学科に再入学を志願する者があるときは、相当年次に入学を許可することができる。

2 第41条（2）号、（3）号、（4）号の規定により、除籍された者で、同一学科に再入学を志願する者があるときは、相当年次に入学を許可する場合がある。

（編入学等の決定）

第36条 前3条の規定による入学の許可、および許可された者の既に履修した授業科目および単位数の取扱いならびに在学すべき年数については、教授会の議を経て、学長が決定す

る。

第11章 休学、留学、転学、転学部、転学科、退学および除籍

(休学)

第37条 疾病その他やむを得ない理由により、3ヶ月以上修学することができない者は、学長の許可を得て、休学することができる。

2 疾病のため修学することが適当でないと認められる者について、学長は、休学を命ずることができる。

3 休学の期間は1ケ年以内とする。ただし、特別の事由があるときは、引き続きさらに1ケ年以内の休学を許可することがある。また、休学の期間は、通算して4年を超えることができない。

4 休学期間満了の場合または休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

5 休学の期間は、第11条第2項の在学年限に算入しない。

(留学)

第38条 外国の大学に留学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

2 留学した期間は、第11条および第24条の在学年限に算入する。

(転学および転学部、転学科)

第39条 他の大学に転学を志願する者は、学長の許可を受けなければならない。

2 本学内で転学部、転学科を志願する者がある時は、当該学部、学科に欠員のある場合に限り、選考の上、学長が許可することがある。転学部、転学科に関する規程は別に定める。

(退学)

第40条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第41条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。

- (1) 第11条第2項に定める在学年限を超えた者
- (2) 授業料等学費の納付を怠り、催促してもなお納付しない者
- (3) 第37条第3項に定める休学の期間を超えてなお修学できない者
- (4) 長期にわたり行方不明の者

第12章 検定料、入学金、授業料 等

(検定料等の金額)

第42条 本学の検定料、入学金、授業料、施設費、維持管理費、実習費または実験実習費および新入生特別研修費の金額は、別表のとおりとする。ただし、併設文京学院大学女子高等学校から入学した者の入学金については、50,000円を減じた額とする。

2 第33条、第34条、第35条の規定に基づき本学に入学を許可された者が納める学費は、原則として当該者の属する年次の在学者に係わる学費と同額とする。ただし、検定料および入学金は、入学する年度の学則に定められた額とする。また、施設費は入学年次により別表のとおり一部免除する。また、併設文京学院短期大学を卒業した者の入学金は、100,000円とし、施設費は免除する。併設文京学院大学医学技術専門学校を卒業した者の入学金は100,000円とする。

(授業料等の納入)

第43条 授業料、維持管理費、施設費および実験実習費は、次の2期に分けて納入しなければならない。ただし、特別の事情があると認められる者は、延納を許可することがある。

前期 4月30日まで 後期 10月31日まで

2 新入生特別研修費は、4月30日までに納入しなければならない。ただし、特別の事情があると認められる者は、延納を許可することがある。

3 入学金は、所定の期日までに納入しなければならない。

(休学の場合の授業料等)

第44条 休学中は、授業料等の納付金を納入しなければならない。ただし、当該期開始前に休学の申請があり、休学を許可され、または命じられた者については、前期の全期間または後期の全期間を休学したときは、その期の授業料、新入生特別研修費および実験実習費を免除する。

2 期の途中、前期においては6月30日（休日の場合はその前日）、後期においては12月27日（休日の場合はその前日）までに休学の申請があり、休学を許可され、または命じられた者については、その学期について納入すべき授業料および実験実習費の2分の1を減額する。但し、その期（前期・後期）の単位付与はしない。

3 前項の手続きについては、教授会の審議決定を踏まえ、学長の許可の基に行う。

(退学、停学等の場合の授業料等)

第45条 前期または後期の途中で退学もしくは転学した者については、当該期分の授業料、維持管理費および実験実習費を納入しなければならない。

2 停学期間中の授業料、維持管理費および実験実習費は、納入しなければならない。

(納入した検定料等)

第46条 納入した検定料、入学金、授業料、施設費、維持管理費、新入生特別研修費および実験実習費は、返還しない。

ただし、本学則第44条に規定する休学の場合の授業料等については、既に納付された授業料等をその全額または2分の1を返還する。

第13章 科目等履修生、聴講生、研究生、外国人留学生、長期履修学生

(科目等履修生)

第47条 本学において、特定の授業科目を履修することを志願する者があるときは、本学の教育に支障がない限りにおいて、選考の上、科目等履修生として履修を許可することがある。

2 科目等履修生に関する事項は、別に定める。

(聴講生)

第48条 本学所定の授業科目中、その1科目の聴講を願い出る者があるときは、当該授業に支障のない限りにおいて、聴講生として、聴講を許可することがある。

2 聴講生に関する事項は、別に定める。

(研究生)

第49条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、当該学科の授業および研究に支障がない限りにおいて、選考の上、研究生として入学を許可することがある。

2 研究生に関する事項は、別に定める。

(外国人留学生)

第50条 外国人で、大学等において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。

2 外国人留学生に関する事項は、別に定める。

(長期履修学生)

第51条 長期履修学生に関する事項は、別に定める。

第14章 賞 罰

(表彰)

第52条 学生として表彰に値する行為があった者には、教授会ならびに大学運営会議の議を経て、学長が表彰することができる。

2 表彰に関する事項は、別に定める。

(懲戒)

第53条 本学の規則に違反し、または学生としての本分に反する行為をした者は、教授会ならびに大学運営会議の議を経て、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、訓告、停学および退学とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する学生に対し行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者。

(2) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者。

4 懲戒に関する事項は、別に定める。

第15章 図 書 館

(図書館)

第54条 本学に図書館を置く。

2 図書館に関する事項は、別に定める。

第16章 研 究 所

(研究所)

第55条 本学に研究所を置くことができる。

2 研究所に関する事項は、別に定める。

第17章 厚 生 施 設

(寄宿寮)

第56条 本学に学生寮を置く。

2 学生寮に関する事項は、別に定める。

第18章 公 開 講 座

(公開講座)

第57条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

2 公開講座に関する事項は、別に定める。

第19章 生涯学習センター

(生涯学習センター)

第58条 本学に生涯学習センターを置く。

2 生涯学習センターに関する事項は、別に定める。

第20章 情報教育研究センター

(情報教育研究センター)

第59条 本学に情報教育研究センターを置く。

2 情報教育研究センターに関する事項は、別に定める。

第21章 保育実践研究センター

(保育実践研究センター)

第60条 本学に保育実践研究センターを置く。

2 保育実践研究センターに関する事項は、別に定める。

第22章 文京語学教育研究センター

(文京語学教育研究センター)

第61条 本学に文京語学教育研究センター（BLEC）を置く。

2 文京語学教育研究センターに関する事項は、別に定める。

第23章 子ども英語教育センター

(子ども英語教育センター)

第62条 本学に子ども英語教育センターを置く。

2 子ども英語教育センターに関する事項は、別に定める。

第24章 心理臨床・福祉センター

(心理臨床・福祉センター)

第63条 本学に心理臨床・福祉センターを置く。

2 心理臨床・福祉センターに関する事項は、別に定める。

第25章 臨床心理相談センター

(臨床心理相談センター)

第64条 本学に臨床心理相談センターを置く。

2 臨床心理相談センターに関する事項は、別に定める。

第26章 国際交流センター

(国際交流センター)

第65条 本学に国際交流センターを置く。

2 国際交流センターに関する事項は、別に定める。

第27章 コンテンツ多言語知財化センター

(コンテンツ多言語知財化センター)

第66条 本学にコンテンツ多言語知財化センターを置く。

2 コンテンツ多言語知財化センターに関する事項は、別に定める。

第28章 地域連携センター

(地域連携センター)

第67条 本学に地域連携センターを置く。

2 地域連携センターに関する事項は、別に定める。

第29章 教職課程センター

(教職課程センター)

第68条 本学に教職課程センターを置く。

2 教職課程センターに関する事項は、別に定める。

第30章 学習サポートセンター

(学習サポートセンター)

第69条 本学に学習サポートセンターを置く。

2 学習サポートセンターに関する事項は、別に定める。

第31章 まちづくり研究センター

(まちづくり研究センター)

第70条 本学にまちづくり研究センターを置く。

2 まちづくり研究センターに関する事項は、別に定める。

第32章 教学IRセンター

(教学IRセンター)

第71条 本学に教学IRセンターを置く。

2 教学IRセンターに関する事項は、別に定める。

第33章 DX推進センター

(DX推進センター)

第72条 本学にDX推進センターを置く。

2 DX推進センターに関する事項は、別に定める。

第34章 社会連携研究所

(社会連携研究所)

第73条 本学に社会連携研究所を置く。

2 社会連携研究所に関する事項は、別に定める。

第35章 デザイン・シンキング研究センター

(デザイン・シンキング研究センター)

第74条 本学にデザイン・シンキング研究センターを置く。

2 デザイン・シンキング研究センターに関する事項は、別に定める。

第36章 介護福祉士養成施設に係る事項の特則

(介護福祉士養成施設特則)

第75条 本大学は、介護福祉士養成施設（昼間課程）であるため、これに必要な特則を設けて管理運営する。本特則に定めのない事項は、学則の他の条文および大学諸規程を適用する。

(設置目的)

第76条 文京学院大学人間学部人間福祉学科は、学科内に介護福祉コースを設けて、社会に貢献する有為な介護福祉士を養成することを目的とした教育を行う。

(名称・位置)

第77条 介護福祉士養成のためのコースを、文京学院大学人間学部人間福祉学科介護福祉コースという。

2 本コースは、埼玉県ふじみ野市亀久保1196番地に所在する。

(修業年限、学生定員、学級数)

第78条 本コースの修業年限は、4年とする。学生は、8年を超えて在学することはできない。

2 本コースの学生定員および学級数は次のとおりとする。

学部名	学科名	コース名	入学定員	収容定員	学級数
人間学部	人間福祉学科	介護福祉コース	30名	120名	各学年1学級

※本定員は、人間福祉学科の入学定員・収容定員の内数であり、学科の定員に含まれる。

(養成課程および履修方法等)

第79条 人間学部人間福祉学科介護福祉コースは、介護福祉士の養成を目的として4年間の教育を行う。

2 人間学部人間福祉学科介護福祉コースの授業科目を分けて、大学特別科目、学部共通科目、介護福祉士養成指定科目、卒業研究、人間福祉基礎科目、社会福祉専門科目、精神保健福祉専門科目、介護福祉専門科目、人間福祉関連科目、福祉マネジメント科目および海外留学科目とする。

(1) 介護福祉士養成指定科目の種類および単位数は、別表のとおりとする。

(2) 前号に定めるものの他、必要に応じて特定の授業科目を設けることがある。

3 人間学部人間福祉学科介護福祉コースの介護福祉士養成指定科目については、科目等履修、聴講履修は認めない。

(入学時期・入学資格・入学者の選考・入学手続き)

第80条 入学の時期は、学年の始めとする。

2 入学者の選考は、出身学校の成績、本学が行う学力検査の成績を勘案して適正に行う。

入学試験の種別、各種別の選考方法、各種別の募集定員、出願時期、選考日時、合否発表日時等については、募集要項で定める。

3 前項の選考に合格した者は、別に定めるところにより、入学金を添えて入学の手続きをしなければならない。

4 学則第33条、第34条の定めにかかわらず、本コースでは、他の大学からの編入学、転入学は認めない。また、学則第39条第2項に規定した学内での転学部、転学科、転専攻、転コースについても受入れを行わない。

5 学則第19条、第20条、第21条、第22条に規定した、他の教育施設での修得単位については、介護福祉士養成指定科目についての本コースでの単位認定は行わない。

(試験、追試験、再試験)

第81条 試験は、期日を定めて定期試験を行うほか、通常授業内に随時行う。

2 随時行われる試験および定期試験を正当な理由により受けることができなかった者は追試験、特段の理由がないのに欠席した者および受験したが不合格となった者に対しては、再試験をそれぞれ1回に限り認めることがある。ただし、3年次までの選択科目については原則として再試験を実施しない。

(1) 追試験は、AAを最高として、また、再試験は、本試験における不合格者等に対して行われるものであるから、Cを最高として評価する。

(2) 追試験の受験者は、試験を受けられなかった事情を証明するもの（診断書・事故証明など）の提出がないかぎり、原則として再試験とみなされる。

(単位の授与)

第82条 授業科目を履修し認定された者には、所定の単位を与える。

2 単位取得の認定は、試験、論文その他の方法によるものとする。

3 社会福祉士介護福祉士学校職業能力開発校等養成施設指定規則に掲げられた各科目の出席時間数が、指定規則に定める時間数の3分の2（介護実習は5分の4）に満たない者については、当該科目の履修を認定しない。

(成績の評価)

第83条 成績の評価については、学則第23条に規定した「学修の評価」を準用する。

(卒業の要件)

第84条 本学人間学部人間福祉学科介護福祉コースを卒業するためには、次の各号の要件を満たさなければならない。

(1) 本コースに4年以上在学すること。

(2) 大学特別科目、学部共通科目、介護福祉士養成指定科目、卒業研究、人間福祉基礎科目、社会福祉専門科目、精神保健福祉専門科目、介護福祉専門科目、人間福祉関連科目、福祉マネジメント科目および海外留学科目の中から、必修を含め124単位以上を修得すること。

(教職員組織)

第85条 本学に、介護福祉士養成所長、専任教員、専任職員を置く。なお、必要に応じて、非常勤教員、非常勤職員を置くことができる。

2 本コースの専任教員は、教授、准教授、助教とする。

3 本コースに、事務職員およびその他必要な職員を置く。

4 職員は、それぞれの職務に従事する。

(1) 所長は、校務を掌り、所属職員を統督する。大学長が本養成所長を兼務する。

(2) 教授は、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。

- (3) 准教授は、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。
- (4) 助教は、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。
- (5) 助手は、所属組織の教育研究の円滑な実施に必要な業務を行う。
- (6) 事務職員および必要な職員は、大学の事務全般を掌る。

第36章 改正

第86条 本学則の改正は、教授会および大学運営会議の議を経て理事会が決定するものとする。

附 則

1. この学則は、令和6年4月1日から施行する。

ただし、令和5年度以前の入学者については、入学年度の学則による。

〔第15条第1項第1号別表〕 授業科目の種類および単位数
 〈経営学部 経営コミュニケーション学科〉

No. 1

授業科目				単位数		
				必修	選択	
大学特別科目	人間共生論	人間共生論	2			
		新・文明の旅特講a		2		
		新・文明の旅特講b		2		
		新・文明の旅総合講義		2		
		地球環境論Ⅰ		2		
		地球環境論Ⅱ		2		
		データサイエンス入門	2			
	小計（7科目）		4	10		
	教養科目	心理学Ⅰ		2		
		心理学Ⅱ		2		
		芸術Ⅰ		2		
		芸術Ⅱ		2		
		日中比較文化		2		
		比較文化論Ⅰ		2		
		比較文化論Ⅱ		2		
		ジェンダー論		2		
		社会と倫理		2		
		アカデミック・ライティング		2		
		法学		2		
		国際情勢		2		
		社会学		2		
		行動科学		2		
		民法		2		
		メディアと社会		2		
		ツーリズム		2		
		グローバリズム		2		
		健康の科学		2		
		スポーツⅠ		1		
		スポーツⅡ		1		
		シーズンスポーツⅠ		1		
		シーズンスポーツⅡ		1		
		日本語表現法応用Ⅰ		2		
		日本語表現法応用Ⅱ		2		
	小計（25科目）		0	46		
語学科目	外国語科目	Integrated English Skills-ⅠA	1			
		Integrated English Skills-ⅠB	1			
		Global Communicative English-ⅠA	1			
		Global Communicative English-ⅠB	1			
		TOEIC-ⅠA	1			
		TOEIC-ⅠB	1			
		Integrated English Skills-ⅡA		1		
		Integrated English Skills-ⅡB		1		
		Global Communicative English-ⅡA		1		
		Global Communicative English-ⅡB		1		
		TOEIC-ⅡA		1		
		TOEIC-ⅡB		1		
語学科目	外国語科目	Integrated English Skills-ⅢA			1	
		Integrated English Skills-ⅢB			1	
		Global Communicative English-ⅢA			1	
		Global Communicative English-ⅢB			1	
		TOEIC-ⅢA			1	
		TOEIC-ⅢB			1	
		中国語ⅠA			1	
		中国語ⅠB			1	
		中国語セミナーⅠA			1	
		中国語セミナーⅠB			1	
		韓国・朝鮮語初級ⅠA			1	
		韓国・朝鮮語初級ⅠB			1	
		フランス語初級ⅠA			1	
		フランス語初級ⅠB			1	
		スペイン語初級ⅠA			1	
		スペイン語初級ⅠB			1	
語学科目	外国語科目	中国語ⅡA			1	
		中国語ⅡB			1	
		中国語セミナーⅡA			1	
		中国語セミナーⅡB			1	
		中国語ⅢA			1	
		中国語ⅢB			1	
	小計（34科目）			6	28	
	留学生科目	日本語ⅠA			1	
		日本語ⅠB			1	
		日本語ⅡA			1	
		日本語ⅡB			1	
		日本語ⅢA			1	
		日本語ⅢB			1	
		日本語ⅣA			1	
		日本語ⅣB			1	
		日本語論文指導ⅠA			1	
		日本語論文指導ⅠB			1	
		日本語論文指導ⅡA			1	
		日本語論文指導ⅡB			1	
	小計（12科目）			0	12	
キャリア科目	キャリア科目	キャリアデザインⅠ		2		
		キャリアデザインⅡ			2	
		キャリアデザインⅢ			2	
		キャリアデザインⅣ			2	
		短期インターンシップ			2	
	小計（5科目）			2	8	

〔第15条第1項第1号別表〕 授業科目の種類および単位数
 〈経営学部 経営コミュニケーション学科〉

No. 2

授業科目			単位数		授業科目			単位数			
			必修	選択				必修	選択		
学部 共通科目	経営理解の基礎			2	経営	グローバル・マネジメント			2		
	経済学（ミクロ）			2		人材・組織マネジメント			2		
	経済学（マクロ）			2		財務戦略			2		
	ビジュアル・シンキング		2			経営者論			2		
	経営学総論		4			経営理念と企業文化			2		
	マーケティング			4		経営倫理と企業統治			2		
	簿記原理基礎		2			イノベーション・マネジメント			2		
	簿記原理発展			2		ソーシャル・マネジメント			2		
	データリテラシー			2		アジアビジネス			2		
	コンピュータリテラシー（基礎）		2			Business Presentation in English			2		
	コンピュータリテラシー（応用）			2		小計（ 10 科目 ）		0	20		
	ビジネスとデザイン			2	会計・ 税務	財務会計（基礎）			2		
	ビジネスデザイン実習			2		財務会計（発展）			2		
	画像表現（基礎）			2		管理会計（基礎）			2		
	画像表現（応用）			2		管理会計（発展）			2		
	経営統計（基礎）			2		税法（所得税）			2		
	経営統計（多変量解析）			2		税法（法人税）			2		
	社会調査法（基礎）			2		監査論			2		
	初年次ラボ		4			小計（ 7 科目 ）		0	14		
	経営情報（基礎）			2	経済・ 金融・ 法	行動経済学			2		
	AI概論			2		国際金融			2		
	基礎演習		4			金融・経済特講			2		
	デザインの経営史			2		小計（ 3 科目 ）		0	6		
小計（ 23 科目 ）			18	36	フィールド ワーク	フィールドスタディⅠ			2		
企業と社会			2	フィールドスタディⅡ			2				
経営戦略論			4	フィールドスタディⅢ			4				
経営組織論			4	フィールドワークⅠ			2				
人的資源管理論			2	フィールドワークⅡ			4				
財務管理論			2	フィールドワークⅢ			4				
ベンチャー経営論			2	小計（ 6 科目 ）		0	18				
国際経営論			2	演習	外国書講読			2			
小計（ 7 科目 ）			0		18	専門演習（3年）			4		
簿記実践			4		専門演習（卒業研究）			6			
会計学（基礎）			2		キャリアメンタリング演習Ⅰ			2			
会計学（発展）			2		キャリアメンタリング演習Ⅱ			2			
上級簿記			4	小計（ 5 科目 ）		0	16				
工業簿記			4	留学科目	海外語学研修A			2			
コンピュータ会計			2		海外語学研修B			2			
経営分析			2		海外語学研修C			2			
小計（ 7 科目 ）			0		20	海外語学研修D			2		
国際経済Ⅰ			2		海外セメスター語学研修A			1			
国際経済Ⅱ			2		海外セメスター語学研修B			2			
ファイナンスA			2		海外セメスター語学研修C			4			
ファイナンスB			2		海外セメスター語学研修D			5			
商法			2		小計（ 8 科目 ）		0	20			
会社法			2		合計（ 165科目 ）					30	284
小計（ 6 科目 ）			0	12							

1. 外国語科目のうち日本語に関する科目は外国人留学生のみを対象とする。

〔第15条第2項第1号別表〕 授業科目の種類および単位数
 (経営学部 マーケティング・デザイン学科)

No. 1

授業科目			単位数		授業科目			単位数			
			必修	選択				必修	選択		
教養科目	大学特別科目	人間共生論	2		語学科目	外国語科目	Integrated English Skills-ⅢA		1		
		新・文明の旅特講a		2			Integrated English Skills-ⅢB		1		
		新・文明の旅特講b		2			Global Communicative English-ⅢA		1		
		新・文明の旅総合講義		2			Global Communicative English-ⅢB		1		
		地球環境論Ⅰ		2			TOEIC-ⅢA		1		
		地球環境論Ⅱ		2			TOEIC-ⅢB		1		
		データサイエンス入門	2				中国語ⅠA		1		
	小計（ 7 科目 ）		4	10			中国語ⅠB		1		
	教養科目	教養科目	心理学Ⅰ				2	中国語セミナーⅠA		1	
			心理学Ⅱ				2	中国語セミナーⅠB		1	
			芸術Ⅰ				2	韓国・朝鮮語初級ⅠA		1	
			芸術Ⅱ				2	韓国・朝鮮語初級ⅠB		1	
			日中比較文化				2	フランス語初級ⅠA		1	
			比較文化論Ⅰ				2	フランス語初級ⅠB		1	
			比較文化論Ⅱ				2	スペイン語初級ⅠA		1	
			ジェンダー論				2	スペイン語初級ⅠB		1	
			社会と倫理				2	中国語ⅡA		1	
			アカデミック・ライティング				2	中国語ⅡB		1	
			法学				2	中国語セミナーⅡA		1	
			国際情勢				2	中国語セミナーⅡB		1	
			社会学				2	中国語ⅢA		1	
			行動科学				2	中国語ⅢB		1	
			民法				2	小計（ 34 科目 ）		6	28
			メディアと社会			2	留学生科目	日本語ⅠA		1	
			ツーリズム			2		日本語ⅠB		1	
			グローバリズム			2		日本語ⅡA		1	
			健康の科学			2		日本語ⅡB		1	
			スポーツⅠ	1				日本語ⅢA		1	
			スポーツⅡ	1				日本語ⅢB		1	
			シーズンスポーツⅠ	1				日本語ⅣA		1	
			シーズンスポーツⅡ	1				日本語ⅣB		1	
			日本語表現法応用Ⅰ			2		日本語論文指導ⅠA		1	
			日本語表現法応用Ⅱ			2		日本語論文指導ⅠB		1	
			小計（ 25 科目 ）			0		46	日本語論文指導ⅡA		1
			語学科目	外国語科目		Integrated English Skills-ⅠA		1		日本語論文指導ⅡB	
Integrated English Skills-ⅠB					1		小計（ 12 科目 ）		0	12	
Global Communicative English-ⅠA	1				キャリア科目	キャリアデザインⅠ	2				
Global Communicative English-ⅠB	1					キャリアデザインⅡ		2			
TOEIC-ⅠA	1					キャリアデザインⅢ		2			
TOEIC-ⅠB	1					キャリアデザインⅣ		2			
Integrated English Skills-ⅡA		1				短期インターンシップ		2			
Integrated English Skills-ⅡB		1				小計（ 5 科目 ）		2	8		
Global Communicative English-ⅡA		1									
Global Communicative English-ⅡB		1									
TOEIC-ⅡA		1									
TOEIC-ⅡB		1									

〔第15条第2項第1号別表〕 授業科目の種類および単位数
 (経営学部 マーケティング・デザイン学科)

No. 2

授業科目		単位数		授業科目		単位数		
		必修	選択			必修	選択	
学部 共通 科目	経営理解の基礎		2	デジタル	経営情報（応用）		2	
	経済学（ミクロ）		2		情報検定		2	
	経済学（マクロ）		2		データベース実習		4	
	ビジュアル・シンキング	2			ネットワーク実習		2	
	経営学総論		4		プログラミング（基礎）		2	
	マーケティング	4			プログラミング（応用）		2	
	簿記原理基礎		2		Webアプリ開発（フロントエンド）		2	
	簿記原理発展		2		Webアプリ開発（バックエンド）		2	
	データリテラシー		2		プログラミング言語		2	
	コンピュータリテラシー（基礎）	2			情報ネットワーク社会		2	
	コンピュータリテラシー（応用）		2		小計（ 10 科目 ）	0	22	
	ビジネスとデザイン	2		コンテンツ・デザイン	コンテンツ制作論		2	
	ビジネスデザイン実習		2		著作権ビジネス		2	
	画像表現（基礎）		2		エンタテインメントケースメソッド		2	
	画像表現（応用）		2		コンテンツ戦略論		2	
	経営統計（基礎）		2		映像表現基礎（After Effects）		2	
	経営統計（多変量解析）		2		映像表現基礎（Premiere Pro）		2	
	社会調査法（基礎）		2		ビジュアルデザイン制作		2	
	初年次ラボ	4			ビジュアルデザイン制作（インフォグラフィ）		4	
	経営情報（基礎）		2		Web制作実習Ⅰ		2	
	AI概論		2		Web制作実習Ⅱ		2	
	基礎演習	4			インタラクティブデザイン		4	
	デザインの経営史		2	小計（ 11 科目 ）	0	26		
小計（ 23 科目 ）	18	36	フィールドワーク	フィールドスタディⅠ		2		
学科専門科目（基礎・基幹）	ビジュアルデザイン			2	フィールドスタディⅡ		2	
	デジタルマーケティング（基礎）			2	フィールドスタディⅢ		4	
	消費者行動			2	フィールドワークⅠ		2	
	情報セキュリティ概論			2	フィールドワークⅡ		4	
	UI/UXデザイン			2	フィールドワークⅢ		4	
	データ分析			2	小計（ 6 科目 ）	0	18	
	情報処理（基礎）		2	演習	外国書講読		2	
	情報処理（応用）		2		専門演習（3年）		4	
	社会調査法（発展）		2		専門演習（卒業研究）		6	
小計（ 9 科目 ）	0	18	キャリアメンタリング演習Ⅰ			2		
学科専門科目（発展）	ブランド戦略		2	キャリアメンタリング演習Ⅱ		2		
	グローバルマーケティング		4	小計（ 5 科目 ）	0	16		
	プロモーション戦略		2	留学科目	海外語学研修A		2	
	貿易実務		4		海外語学研修B		2	
	マーケティングリサーチ（基礎）		2		海外語学研修C		2	
	マーケティングリサーチ（実践）		2		海外語学研修D		2	
	デジタルマーケティング（応用）		2		海外セメスター語学研修A		1	
	流通とEC		2		海外セメスター語学研修B		2	
	デザイン思考と商品開発実践		4		海外セメスター語学研修C		4	
	サービスマーケティング		4		海外セメスター語学研修D		5	
	コンテンツマーケティング		2		小計（ 8 科目 ）	0	20	
	コンテンツマーチャンダイジング		2	合計（ 167科目 ）			30	292
	小計（ 12 科目 ）	0	32					

1. 外国語科目のうち日本語に関する科目は外国人留学生のみを対象とする。

〔第15条第3項第1号別表〕 授業科目の種類および単位数
 授業科目の種類および単位数 〈人間学部 コミュニケーション社会科学科〉

授業科目の名称		単位数	
		必修	選択
大学特別科目	人間共生論	2	
	新・文明の旅特講a		2
	新・文明の旅特講b		2
	新・文明の旅総合講義		2
	地球環境論Ⅰ		2
	地球環境論Ⅱ		2
	データサイエンス入門	2	
学部共通科目	心理学概論Ⅰ	2	
	心理学概論Ⅱ		2
	文章作法		2
	英語Ⅰ	1	
	英語Ⅱ	1	
	生命科学		2
	人間の歴史		2
	キャリア実践講座Ⅰ		2
	キャリア実践講座Ⅱ		2
	海外短期フィールドワークⅠ		2
	海外短期フィールドワークⅡ		2
	社会貢献実習（学校インターンシップ）		2
	短期フィールドプロジェクトⅠ		1
	短期フィールドプロジェクトⅡ		1
学科基礎科目	社会学基礎科目	共生社会論	2
		社会学Ⅰ	2
		社会学Ⅱ	2
		現代社会論	2
		コミュニケーション社会学	2
		臨床社会学	2
	社会調査科目	社会調査法Ⅰ	2
		社会調査法Ⅱ	2
		社会統計学Ⅰ	2
		社会統計学Ⅱ	2
		量的データ分析	2
		質的データ分析	2
		社会調査実習Ⅰ	2
		社会調査実習Ⅱ	2
	人間学基礎科目	法学概論	2
		市民生活の法	2
		政治学	2
		経済学	2
		経営学	2
		地理学	2
		日本の歴史と文化	2
		文化人類学	2
		人間理解のための哲学	2
		共生の倫理	2
		人間関係論	2
	情報科目	情報処理基礎演習Ⅰ	2
		情報処理基礎演習Ⅱ	2
		情報システム総論Ⅰ	2
		情報システム総論Ⅱ	2

授業科目の名称			単位数	
			必修	選択
学科基礎科目	外国語科目	英語コミュニケーションⅠ		1
		英語コミュニケーションⅡ		1
	基礎演習	初年次教育演習Ⅰ	2	
		初年次教育演習Ⅱ	2	
		基礎演習Ⅰ	2	
		基礎演習Ⅱ	2	
専門科目	文化とメディア	文化社会学		2
		メディア社会学		2
		比較文化論		2
		異文化コミュニケーション論		2
		メディアコンテンツ論		2
		サブカルチャー論		2
		ジェンダー論		2
		メディアリテラシー		2
		国際社会学		2
		宗教社会学		2
	環境と地域	地域社会学		2
		環境社会学		2
		都市社会学		2
		自然環境保護論		2
		まちづくり論		2
		環境教育論		2
		NPO論		2
		地域環境計画論		2
	仕事とライフスタイル	防災・リスクマネジメント論		2
		環境ビジネス論		2
		家族社会学		2
		産業社会学		2
		教育社会学		2
		消費社会学		2
		地域子育て支援社会論		2
		ライフデザイン論		2
		格差社会学		2
		福祉社会学		2
		ケア社会学		2
		ソーシャルビジネス論		2
	専門演習	専門演習Ⅰ	2	
		専門演習Ⅱ	2	
		卒業研究Ⅰ		3
		卒業研究Ⅱ		3

〔第15条第3項第1号別表〕 授業科目の種類および単位数
 授業科目の種類および単位数〈人間学部 コミュニケーション社会学科〉

授業科目の名称			単位数	
			必修	選択
専門実践科目	プロジェクト科目	対人コミュニケーション演習		2
		ファシリテーター演習		2
		プロジェクトデザイン演習		2
		プロジェクトマネジメント演習	2	
		まちラボプロジェクト演習Ⅰ	2	
		まちラボプロジェクト演習Ⅱ	2	
		まちラボプロジェクト実習Ⅰ		3
		まちラボプロジェクト実習Ⅱ		3
	フィールド科目	フィールドワーク論		2
		フィールドワーク実習		2
		共生社会フィールドスタディズⅠ		6
		共生社会フィールドスタディズⅡ		6
	キャリア科目	キャリアデザイン論		2
		キャリアデザイン実習		2
		公務キャリア特講		2
専門関連科目				2
				2
				2
				2
				2
				2
				2
海外留学科目				1
				2
				4
				5
				2
				2
				2
				2

1. 専門科目は、A・B・C各領域から2科目以上取得かつ、A・B・C領域から最低24単位以上取得
2. 卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱかまちラボプロジェクト実習Ⅰ、まちラボプロジェクト実習Ⅱどちらかの組み合わせを選択必修
3. 他学科・他学部の単位取得の上限は、30単位とし、学科基礎科目の領域として扱う

[学則第15条第4項第1号別表] 授業科目の種類および単位数（人間学部 児童発達学科）

授業科目の名称		単位数	
		必修	選択
大学特別科目	人間共生論	2	
	新・文明の旅特講 a		2
	新・文明の旅特講 b		2
	新・文明の旅総合講義		2
	地球環境論Ⅰ		2
	地球環境論Ⅱ		2
	データサイエンス入門	2	
学部共通科目	心理学概論Ⅰ	2	
	心理学概論Ⅱ		2
	文章作法		2
	英語Ⅰ		1
	英語Ⅱ		1
	生命科学		2
	人間の歴史		2
	キャリア実践講座Ⅰ		2
	キャリア実践講座Ⅱ		2
	海外短期フィールドワークⅠ		2
	海外短期フィールドワークⅡ		2
	社会貢献実習（学校インターンシップ）		2
	短期フィールドプロジェクトⅠ		1
	短期フィールドプロジェクトⅡ		1
卒業研究	保育研究入門（調査統計を含む）	1	
	保育専門演習Ⅰ - A	2	
	保育専門演習Ⅰ - B	2	
	保育専門演習Ⅱ - A	2	
	保育専門演習Ⅱ - B	2	
	卒業研究（卒業論文）		2
保育・教育専門科目	基礎演習	2	
	実習基礎演習	1	
	教職実践演習（幼・小）		2
	日本国憲法		2
	健康科学		2
	体育実技Ⅰ		1
	体育実技Ⅱ		1
	英語コミュニケーションⅠ		1
	英語コミュニケーションⅡ		1
	基礎英語		1
	基礎英会話		1
	ブラッシュアップ英語		2
	情報メディア演習		2
	情報機器の操作		2
	国語（書写を含む）		2
	子ども文学論		2
	社会		2
	算数		2
	理科		2
	音楽表現Ⅰ		1
	音楽表現Ⅱ		1
	こどもの音楽表現Ⅰ		1
	こどもの音楽表現Ⅱ		1
	造形表現Ⅰ		1
	造形表現Ⅱ		1
	こどもの造形表現Ⅰ		1
	こどもの造形表現Ⅱ		1
	総合表現特講Ⅰ		2
	総合表現特講Ⅱ		2
	こどもの運動表現		1
	運動方法演習		1
	ことばと表現		1
	幼児英語指導法		2
	英語教育実践		2
保育・教育専門科目	教育臨床特講Ⅰ		2
	教育臨床特講Ⅱ		2
	地域と学校Ⅰ		2
	地域と学校Ⅱ		2
	教職入門		2
	教職論		2
	幼児教育原理（保育原理）		2
	教育原理		2
	教育の思想と歴史		2
	子ども家庭福祉		2
	社会福祉		2
	子ども家庭支援論		2
	社会的養護Ⅰ		2
	社会的養護Ⅱ		1
	社会的養護と療育		1
	保育心理学		2
	発達心理学		2
	教育心理学		2
	特別な支援を要する児童理解の理論と方法		2
	発達支援演習		1
	障害児保育演習Ⅰ		1
	障害児保育演習Ⅱ		1
	子どもの保健		2
	子どもの健康と安全		1
	子どもの食と栄養		2
	子ども家庭支援の心理学		2
	教育行財政論		2
	幼児教育課程論		2
	教育課程論		2
	健康		2
	人間関係		2
	環境		2
	言葉		2
	保育内容総論		1
	保育内容の指導法（健康）		2
	保育内容の指導法（人間関係）		2
	保育内容の指導法（環境）		2
	保育内容の指導法（言葉）		2
	保育内容の指導法（表現）		2
	保育内容の指導法（生活と遊び）		1
	保育内容の指導法（計画と評価）		1
	乳児保育Ⅰ		2
	乳児保育Ⅱ		1
	子育て支援		1
	保育方法総論		2
	国語科指導法		2
	社会科指導法		2
	算数科指導法		2
	理科指導法		2
	生活科指導法		2
	家庭科指導法		2
	音楽科指導法		2
	図画工作科指導法		2
	体育科指導法		2
	外国語（英語）指導法		2

授業科目の名称		単位数	
		必修	選択
保育・教育専門科目	道徳の指導法		2
	総合的な学習の時間・特別活動の指導法		2
	教育の方法及び技術（ICTの活用含む）		2
	幼児理解の理論と方法		2
	生徒・進路指導論		2
	教育相談		2
	教育実習Ⅰ		1
	教育実習Ⅱ		4
	保育実習Ⅰ		4
	保育実習指導Ⅰ		2
	保育実習Ⅱ		2
	保育実習指導Ⅱ		1
	保育実習Ⅲ		2
	保育実習指導Ⅲ		1
	世界のこどもたち		2
	世界の文化と教育		2
	Freshman English（初級英語）Ⅰ		1
	Freshman English（初級英語）Ⅱ		1
	Intermediate English（中級英語）Ⅰ		1
	Intermediate English（中級英語）Ⅱ		1
	Comprehensive English（総合英語）Ⅰ		1
	Comprehensive English（総合英語）Ⅱ		1
	国際こどもインターンシップ		1

授業科目の名称		単位数	
		必修	選択
海外留学科目	海外セメスター語学研修A		1
	海外セメスター語学研修B		2
	海外セメスター語学研修C		4
	海外セメスター語学研修D		5
	海外語学研修A		2
	海外語学研修B		2
	海外語学研修C		2
	海外語学研修D		2

- 他学科・他学部の単位取得の上限は、30単位とし、保育・教育専門科目の領域として扱う。
- 総合表現特講Ⅰ・総合表現特講Ⅱ、幼児英語指導法・ブラッシュアップ英語、英語教育実践・ブラッシュアップ英語、教育臨床特講Ⅰ・教育臨床特講Ⅱ、地域と学校Ⅰ・地域と学校Ⅱのいずれかを選択必修とする。
- 海外短期フィールドワークⅠまたはⅡを履修する場合には、事前指導としての世界の文化と教育を必修とする。
- Freshman English（初級英語）Ⅰ・Ⅱ、Intermediate English（中級英語）Ⅰ・Ⅱ、Comprehensive English（総合英語）Ⅰ・Ⅱ、国際こどもインターンシップは、国際こどもコース科目とする。

[学則第15条第4項第3号別表]

児童発達学科 幼稚園教諭一種免許状取得に係る授業科目の種類及び単位数 (令和6年度以降入学生)

施行規則に定める科目区分等		単位数		備 考		
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	必修	選択			
六免六許条の施行に規定される科目	日本国憲法	2		「健康科学」または「体育実技Ⅰ」および「体育実技Ⅱ」を選択必修		
	体 育		2 1 1			
	外国語コミュニケーション	1 1				
	数理、データ活用及び人口知能に関する科目又は情報機器の操作	2				
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康 運動方法演習 子どもの健康と安全	2 1	1	16単位以上修得	
		人間関係	2			
		環 境	2			
		言 葉	2	1 2		
		表 現	1 1 1 1			
	領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					
	(情報保育機器及び指導法の活用を含む。)	保育内容総論	1			
		保育内容の指導法（健康）	2			
		保育内容の指導法（人間関係）	2			
		保育内容の指導法（環境）	2			
		保育内容の指導法（言葉）	2			
保育内容の指導法（表現）		2				
保育内容の指導法（生活と遊び）		1				
保育内容の指導法（計画と評価）			1			
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	幼児教育原理（保育原理） 教育原理 教育の思想と歴史	2	2 2 2	10単位以上修得	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	2			
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	2			
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	2 2	2		
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	2			
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	2			
	談びの道等生時徳に徒間、関指等総す導の合る、指的科教導な目育法学相及習	保育方法総論 発達支援演習 障害児保育演習Ⅰ 障害児保育演習Ⅱ 情報メディア演習	2 1 1 2	1	4単位以上修得	
		幼児理解の理論及び方法	2			
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	2			
		教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 実習基礎演習	1 4	1		7単位以上修得
	学校体験活動					
	教職実践演習	2				
	大学が独自に設定する科目				1 1 1 1 1 1 1 2	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」について、併せて14単位以上を修得すること。

系列	指定科目	教科目	形態	単位		備考
				必修	選択	
教養科目	外国語、体育以外の科目	人間共生論	講義	2		6単位以上選択必修
		心理学概論Ⅰ	講義	2		
		心理学概論Ⅱ	講義		2	
		文章作法	講義		2	
		生命科学	講義		2	
		人間の歴史	講義		2	
		日本国憲法	講義		2	
		基礎演習	演習	2		
	外国語	英語Ⅰ	演習		1	2単位以上選択必修
		英語Ⅱ	演習		1	
		英語コミュニケーションⅠ	演習		1	
		英語コミュニケーションⅡ	演習		1	
		基礎英語	演習		1	
		基礎英会話	演習		1	
		ブラッシュアップ英語	演習		2	
	体育	健康科学	講義	2		
		体育実技Ⅰ	実技	1		
		体育実技Ⅱ	実技	1		
保育の本質・目的に関する科目	保育原理 教育原理 子ども家庭福祉 社会福祉 子ども家庭支援論 社会的養護Ⅰ 保育者論	幼児教育原理（保育原理）	講義	2		
		教育原理	講義	2		
		子ども家庭福祉	講義	2		
		社会福祉	講義	2		
		子ども家庭支援論	講義	2		
		社会的養護Ⅰ	講義	2		
		教職入門	講義	2		
	任意	教育の思想と歴史	講義		2	※
		社会的養護と療育	演習		1	※
保育に関する対象科目の理解	保育の心理学 子ども家庭支援の心理学 子どもの理解と援助 子どもの保健 子どもの食と栄養	保育心理学	講義	2		
		子ども家庭支援の心理学	講義	2		
		幼児理解の理論と方法	演習	2		
		子どもの保健	講義	2		
		子どもの食と栄養	演習	2		
	任意	発達心理学	講義		2	※
		特別な支援を要する児童理解の理論と方法	講義		2	※
		発達支援演習	演習		1	※
		教育心理学	講義		2	※
		世界のこどもたち	講義		2	※
	保育の計画と評価	保育内容の指導法（計画と評価）	演習	1		
		幼児教育課程論	講義	2		
	保育内容総論 保育内容演習	保育内容総論	演習	1		
		保育内容の指導法（健康）	演習	2		
		保育内容の指導法（人間関係）	演習	2		
		保育内容の指導法（環境）	演習	2		
		保育内容の指導法（言葉）	演習	2		
		保育内容の指導法（表現）	演習	2		
		保育内容の理解と方法	運動方法演習	1		
	保育内容の理解と方法	ことばと表現	演習	1		
		音楽表現Ⅱ	演習	1		

系列	指定科目	教科目	形態	単位		備考
				必修	選択	
保育の内容・方法に関する科目	乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 子どもの健康と安全 障害児保育演習Ⅰ 障害児保育演習Ⅱ 社会的養護Ⅱ 子育て支援	造形表現Ⅰ	演習	1		
		乳児保育Ⅰ	講義	2		
		乳児保育Ⅱ	演習	1		
		子どもの健康と安全	演習	1		
		障害児保育演習Ⅰ	演習	1		
		障害児保育演習Ⅱ	演習	1		
		社会的養護Ⅱ	演習	1		
		子育て支援	演習	1		
	任意	健康	講義		2	※
		人間関係	講義		2	※
		環境	講義		2	※
		言葉	講義		2	※
		音楽表現Ⅰ	演習		1	※
		造形表現Ⅱ	演習		1	※
		保育内容の指導法（生活と遊び）	演習		1	※
		保育方法総論	講義		2	※
		子ども文学論	講義		2	※
		幼児英語指導法	講義		2	※
		実習基礎演習	演習	1		※
		情報メディア演習	演習		2	※
		こどもの音楽表現Ⅰ	演習		1	※
		こどもの音楽表現Ⅱ	演習		1	※
		こどもの造形表現Ⅰ	演習		1	※
		こどもの造形表現Ⅱ	演習		1	※
		こどもの運動表現	演習		1	※
保育実習	保育実習Ⅰ	保育実習Ⅰ	実習	4		
	保育実習指導Ⅰ	保育実習指導Ⅰ	演習	2		
	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	保育実習Ⅱ	実習		2	保育実習Ⅱ・保育実習指導Ⅱまたは保育実習Ⅲ・保育実習指導Ⅲのどちらかを選択必修
		保育実習Ⅲ	実習		2	
	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	保育実習指導Ⅱ	演習		1	
		保育実習指導Ⅲ	演習		1	
総合演習	保育実践演習	教職実践演習（幼・小）	演習	2		2単位必修

注)

1. 保育士の資格取得は、卒業要件を満たした上で、上記必修科目を履修し、※印の中から合計で6単位以上選択して履修すること。
2. 保育士資格に関連する授業科目について、他の大学等（保育士養成校）で履修した場合の単位認定は、学則第20条、第21条及び第22条の規定にかかわらず、30単位を限度とする。

[第15条第4項第4号別表]

児童発達学科 小学校一種免許状取得に係る授業科目の種類及び単位数 (令和6年度以降入学生)

施行規則に定める科目区分等			本学開設授業科目	単位数		備 考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			必修	選択	
定第免 め6許 る6法 科条施 目の行 6規 に則	日本国憲法		日本国憲法	2		
	体育		体育実技Ⅰ	1		
				体育実技Ⅱ	1	
	外国語コミュニケーション		英語コミュニケーションⅠ	1		
			英語コミュニケーションⅡ	1		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作		情報機器の操作	2			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国 語（書写を含む。）	国語（書写を含む）	2		30単位以上修得
		社 会	社会	2		
		算 数	算数	2		
		理 科	理科	2		
		外国語	英語教育実践 英語Ⅰ 英語Ⅱ	2	1 1	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					
	（情報各 報通 信教 科の 技術 の指 導法 活用を 含む）	国 語（書写を含む。）	国語科指導法	2		
		社 会	社会科指導法	2		
		算 数	算数科指導法	2		
		理 科	理科指導法	2		
		生 活	生活科指導法	2		
		音 楽	音楽科指導法	2		
		図画工作	図画工作科指導法	2		
		家 庭	家庭科指導法	2		
		体 育	体育科指導法	2		
外国語		外国語（英語）指導法	2			
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理 教育の思想と歴史	2	2	10単位以上修得
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2		
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育行財政論	2		
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学 発達心理学	2 2		
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別な支援を要する児童理解の理論と方法	2		
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2		
教育の基礎的理解に関する科目等	相の道 談指徳、 等導に 法合、 関及総 する合 すび的 な生な 科徒学 目習導 の時間 教育等	道徳の理論及び指導法	道徳の指導法	2		10単位以上修得
		総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間・特別活動の指導法	2		
		特別活動の指導法				
		教育の方法及び技術	教育の方法及び技術（ICTの活用含む）	2		
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				
		生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	2		
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2		
	関教育 する実 科目に		教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 実習基礎演習	1 4	1	7 単位以上修得
		学校体験活動	社会貢献実習（学校インターンシップ）		2	
教職実践演習		教職実践演習（小）	2			
設大 定学 する独 科自 目に			基礎英語 基礎英会話		1 1	「大学が独自に設定する科目」の選択科目、又は最低修得単位を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目」について、併せて2単位以上を習得。

〔第15条第5項第1号別表および第75条第2項別表〕 授業科目の種類および単位数

授業科目の種類および単位数（人間学部 人間福祉学科）

授業科目の名称		単位数	
		必修	選択
大学特別科目	人間共生論	2	
	新・文明の旅特講a		2
	新・文明の旅特講b		2
	新・文明の旅総合講義		2
	地球環境論Ⅰ		2
	地球環境論Ⅱ		2
	データサイエンス入門	2	
学部共通科目	心理学概論Ⅰ	2	
	心理学概論Ⅱ		2
	文章作法		2
	英語Ⅰ	1	
	英語Ⅱ	1	
	生命科学	2	
	人間の歴史	2	
	キャリア実践講座Ⅰ	2	
	キャリア実践講座Ⅱ	2	
	海外短期フィールドワークⅠ	2	
	海外短期フィールドワークⅡ	2	
	社会貢献実習（学校インターンシップ）	2	
	短期フィールドプロジェクトⅠ	1	
	短期フィールドプロジェクトⅡ		1
研究卒業	卒業研究Ⅰ	2	
	卒業研究Ⅱ	2	
	卒業研究Ⅲ	2	
	卒業研究Ⅳ	2	
基礎人間福祉	キャリアデザイン演習Ⅰ	2	
	キャリアデザイン演習Ⅱ	2	
	キャリアデザイン演習Ⅲ	2	
	情報処理演習Ⅰ	2	
	情報処理演習Ⅱ	2	
社会福祉専門科目	医学概論		2
	社会学と社会システム		2
	社会福祉の原理と政策Ⅰ		2
	社会福祉の原理と政策Ⅱ		2
	社会福祉調査の基礎		2
	ソーシャルワークの基盤と専門職		2
	ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）		2
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		2
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		2
	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ		2
	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ		2
	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ		2
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ		2
	福祉行財政計画論		2
	福祉サービスの組織と経営		2
	社会保障Ⅰ		2
	社会保障Ⅱ		2
	高齢者福祉Ⅰ		2
	高齢者福祉Ⅱ		2
	障害者福祉		2
	児童・家庭福祉Ⅰ		2
	児童・家庭福祉Ⅱ		2

授業科目の名称		単位数	
		必修	選択
社会福祉専門科目	貧困に対する支援		2
	保健医療と福祉		2
	権利擁護を支える法制度		2
	刑事司法と福祉		2
	社会福祉士基礎演習		2
	社会福祉入門		2
	社会福祉士特講Ⅰ		2
精神保健福祉専門科目	社会福祉士特講Ⅱ		4
	社会福祉士特講Ⅲ		2
	精神医学と精神医療Ⅰ		2
	精神医学と精神医療Ⅱ		2
	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ		2
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ		2
	精神保健福祉の原理Ⅰ		2
	精神保健福祉の原理Ⅱ		2
	精神障害リハビリテーション論		2
	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅲ		2
	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅳ		2
	精神保健福祉制度論Ⅰ		2
	精神保健福祉制度論Ⅱ		2
	精神保健福祉士特講Ⅰ		2
	精神保健福祉士特講Ⅱ		2
	精神保健福祉士特講Ⅲ		2
介護福祉専門科目	認知症の基礎的理解		2
	高齢者のからだと心理		2
	高齢者の理解		2
	障害の基礎的理解		2
	障害と介護		2
	認知症と介護		2
	こころとからだのしくみA		2
	こころとからだのしくみB		4
	介護の基本A		4
	介護の基本B		4
	介護の基本C		4
	コミュニケーション技術		2
	コミュニケーション演習		1
	生活支援技術A		2
	生活支援技術B		2
	生活支援技術C		2
	生活支援技術D		2
	生活支援技術E		2
	介護過程A		2
	介護過程B		1
	介護過程C		2
	介護過程D		1
	医療的ケアの基礎的理解A		2
	医療的ケアの基礎的理解B		2
	医療的ケアの基礎的理解C		2
	介護福祉士特講		4

〔第15条第5項第1号別表および第75条第2項別表〕 授業科目の種類および単位数

授業科目の種類および単位数（人間学部 人間福祉学科）

授業科目の名称		単位数	
		必修	選択
人間福祉関連科目	ボランティア入門		2
	コミュニティソーシャルワーク論		2
	レクリエーション活動援助法		2
	ターミナルケア入門		2
	メディカルソーシャルワーク論		2
	地域包括ケア論		2
	健康科学		2
	異文化間の支援と国際社会		2
	女性に対する支援と女性福祉制度		2
	日本国憲法		2
	医療と経済・社会		2
	生命倫理		2
	リハビリテーション論		2
	カウンセリング論		2
	公務員対策特講Ⅰ		2
	公務員対策特講Ⅱ		2
	スペシフィックソーシャルワーク特別専門講座Ⅰ		2
	スペシフィックソーシャルワーク特別専門講座Ⅱ		2
福祉マネジメント科目	Ⅰ類：マネジメント基礎科目	経済学	2
		経営学	2
		経営戦略※	2
		マーケティング※	2
		簿記原理※	2
		人的資源管理※	2
		C S R 論※	2
	Ⅱ類：マネジメント応用科目	福祉起業論	2
		福祉ビジネス概論※	2
		福祉ビジネス演習※	2
		経営心理学※	2
		集団社会心理学※	2
		コーチング※	2
		チームマネジメント※	2
		教育福祉論※	2
		ソーシャルビジネス論※	2
	Ⅲ類：スポーツ系・健康・スポーツ科目	レジャー論	2
		障がい者スポーツ概論	2
		障がい者スポーツ演習	2
		スポーツビジネス論	2
		スポーツ方法論※	2
		メンタルトレーニング論※	2
		介護予防運動法※	2
		スポーツ施設経営論※	2
	シラバス科目	キャリアインターンシップA	1
		キャリアインターンシップB	1
		キャリアインターンシップC※	2

授業科目の名称		単位数	
		必修	選択
海外留学科目	海外セメスター語学研修A		1
	海外セメスター語学研修B		2
	海外セメスター語学研修C		4
	海外セメスター語学研修D		5
	海外語学研修A		2
	海外語学研修B		2
	海外語学研修C		2
	海外語学研修D		2

- 他学部・他学科の単位取得の上限は、30単位とし、人間福祉関連科目の領域として扱う。
- 福祉マネジメントコースの学生は、「福祉マネジメント科目」のⅠ類から5科目10単位以上、Ⅱ類から5科目10単位以上、Ⅲ類から3科目6単位以上それぞれ選択必修かつ、インターンシップ科目群から3科目4単位必修を含む合計30単位以上を取得すること。
また、※印の科目については、本郷キャンパスにて開講する。

〔第15条第5項第3号別表〕 社会福祉士国家試験受験資格の授業科目および単位数

指 定 科 目	本 学 開 講 科 目	必修	選択	単位	時間数	備 考
医学概論	医学概論	○		2	30	
心理学と心理的支援	心理学概論Ⅰ	○		2	30	
社会学と社会システム	社会学と社会システム	○		2	30	
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	○		2	30	
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	○		2	30	
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	○		2	30	
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職	○		2	30	
ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	○		2	30	
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	○		2	30	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	○		2	30	
ソーシャルワークの理論と方法（専門）	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ	○		2	30	
	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ	○		2	30	
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	○		2	30	
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	○		2	30	
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	○		2	30	
社会保障	社会保障Ⅰ	○		2	30	
	社会保障Ⅱ	○		2	30	
高齢者福祉	高齢者福祉Ⅰ	○		2	30	
障害者福祉	障害者福祉	○		2	30	
児童・家庭福祉	児童・家庭福祉Ⅰ	○		2	30	
貧困に対する支援	貧困に対する支援	○		2	30	
保健医療と福祉	保健医療と福祉	○		2	30	
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	○		2	30	
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	○		2	30	
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習	○		1	30	
ソーシャルワーク演習（専門）	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ	○		1	30	
	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ	○		1	30	
	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ	○		1	30	
	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳ	○		1	30	
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	○		1	30	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	○		1	30	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	○		1	30	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅳ	○		1	30	
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習Ⅰ	○		4	180	
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	○		2	60	

※「ソーシャルワーク演習」、「ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ」、「ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ」、「ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ」、「ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳ」、「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」、「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」、「ソーシャルワーク実習指導Ⅲ」、「ソーシャルワーク実習指導Ⅳ」、「ソーシャルワーク実習Ⅰ」、「ソーシャルワーク実習Ⅱ」の11科目については、卒業に必要な単位に含めることはできない。

〔第15条第5項第3号別表〕 精神保健福祉士国家試験受験資格の授業科目および単位数

指 定 科 目	本 学 開 講 科 目	必修	選択	単位	時間数	備 考
医学概論	医学概論	○		2	30	
心理学と心理的支援	心理学概論Ⅰ	○		2	30	
社会学と社会システム	社会学と社会システム	○		2	30	
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	○		2	30	
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	○		2	30	
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	○		2	30	
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	○		2	30	
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	○		2	30	
社会保障	社会保障Ⅰ	○		2	30	
	社会保障Ⅱ	○		2	30	
障害者福祉	障害者福祉	○		2	30	
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	○		2	30	
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	○		2	30	
精神医学と精神医療	精神医学と精神医療Ⅰ	○		2	30	
	精神医学と精神医療Ⅱ	○		2	30	
現代の精神保健の課題と支援	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	○		2	30	
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	○		2	30	
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職	○		2	30	
精神保健福祉の原理	精神保健福祉の原理Ⅰ	○		2	30	
	精神保健福祉の原理Ⅱ	○		2	30	
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	○		2	30	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	○		2	30	
ソーシャルワークの理論と方法（専門）	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅲ	○		2	30	
	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅳ	○		2	30	
精神障害リハビリテーション論	精神障害リハビリテーション論	○		2	30	
精神保健福祉制度論	精神保健福祉制度論Ⅰ	○		2	30	
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習	○		1	30	
ソーシャルワーク演習（専門）	精神保健福祉演習（専門）Ⅰ	○		1	30	
	精神保健福祉演習（専門）Ⅱ	○		1	30	
	精神保健福祉演習（専門）Ⅲ	○		1	30	
ソーシャルワーク実習指導	精神保健福祉実習指導Ⅰ	○		1	30	
	精神保健福祉実習指導Ⅱ	○		1	30	
	精神保健福祉実習指導Ⅲ	○		1	30	
ソーシャルワーク実習	精神保健福祉実習	○		5	210	

※「ソーシャルワーク演習」、「精神保健福祉演習（専門）Ⅰ」、「精神保健福祉演習（専門）Ⅱ」、「精神保健福祉演習（専門）Ⅲ」、「精神保健福祉実習指導Ⅰ」、「精神保健福祉実習指導Ⅱ」、「精神保健福祉実習指導Ⅲ」、「精神保健福祉実習」の8科目については、卒業に必要な単位に含めることはできない。

〔第15条第6項第1号別表〕 授業科目の種類および単位数

授業科目の種類および単位数（人間学部 心理学科）

授業科目の名称		単位数	
		必修	選択
大学特別科目	人間共生論	2	
	新・文明の旅特講a		2
	新・文明の旅特講b		2
	新・文明の旅総合講義		2
	地球環境論Ⅰ		2
	地球環境論Ⅱ		2
	データサイエンス入門	2	
学部教養科目	学部共通科目	(心理学概論Ⅰ 2単位 後掲)	(2)
		(心理学概論Ⅱ 2単位 後掲)	(2)
		文章作法	2
		英語Ⅰ	1
		英語Ⅱ	1
		生命科学	2
		人間の歴史	2
		キャリア実践講座Ⅰ	2
		キャリア実践講座Ⅱ	2
		海外短期フィールドワークⅠ	2
		海外短期フィールドワークⅡ	2
		社会貢献実習（学校インターンシップ）	2
専門演習		短期フィールドプロジェクトⅠ	1
		短期フィールドプロジェクトⅡ	1
		心理学専門演習Ⅰ	2
		心理学専門演習Ⅱ	2
		心理学専門演習Ⅲ	2
		心理学専門演習Ⅳ	2
		心理学専門演習Ⅴ	2
		心理学専門演習Ⅵ	2
		心理学専門演習Ⅶ	2
		心理学専門演習Ⅷ	2
		心理学専門演習Ⅸ	2
		心理学専門演習Ⅹ	2
		心理学専門演習ⅩⅠ	2
		心理学専門演習ⅩⅡ	2
		卒業論文実習	2
専門基礎科目	A 心理学	心理学概論Ⅰ	2
		心理学概論Ⅱ	2
		初年次演習	2
		心理学基礎演習	2
		ストレスマネジメントの心理学	2
		心理学英書講読Ⅰ	2
		心理学英書講読Ⅱ	2
	B 研究方法・測定法	心理学研究法	2
		心理学測定法演習Ⅰ	2
		心理学測定法演習Ⅱ	2
		心理学統計法Ⅰ	2
		心理学統計法Ⅱ	2
		心理学統計法演習Ⅰ	2
		心理学統計法演習Ⅱ	2
		心理学情報処理基礎演習Ⅰ	2
		心理学情報処理基礎演習Ⅱ	2
		心理学情報処理応用演習Ⅰ	2
		心理学情報処理応用演習Ⅱ	2
		行動観察法実習	2
		心理的アセスメント	2
		心理検査法実習Ⅰ	2
		心理検査法実習Ⅱ	2

授業科目の名称			単位数	
			必修	選択
専門基礎科目	B 研究方法・測定法	心理調査法	2	
		心理サイエンス基礎演習Ⅰ		2
		心理サイエンス基礎演習Ⅱ		2
		心理サイエンス応用演習Ⅰ		2
		心理サイエンス応用演習Ⅱ		2
	C 実験	心理学基礎実験Ⅰ（心理学実験）	2	
		心理学基礎実験Ⅱ	2	
		生理心理学実験Ⅰ		2
		生理心理学実験Ⅱ		2
		発達心理学実験Ⅰ		2
		発達心理学実験Ⅱ		2
		社会心理学実験Ⅰ		2
		社会心理学実験Ⅱ		2
		認知心理学実験Ⅰ		2
		認知心理学実験Ⅱ		2
専門科目	D 認知・感情	知覚・認知心理学Ⅰ		2
		知覚・認知心理学Ⅱ		2
		学習心理学（学習・言語心理学）		2
		感情心理学（感情・人格心理学Ⅰ）		2
	E 生理・行動			
		神経・生理心理学		2
		脳と行動		2
		動物行動の心理学		2
	F 教育・発達			
		教育心理学		2
		発達心理学Ⅰ		2
		発達心理学Ⅱ		2
		エイジングの心理学		2
		教育学		2
	G 臨床・人格	臨床心理学概論Ⅰ		2
		臨床心理学概論Ⅱ		2
		心理学的支援法		2
		障害者・障害児心理学		2
		パーソナリティの心理学（感情・人格心理学Ⅱ）		2
	H 社会・文化	健康・医療心理学		2
		社会・集団・家族心理学Ⅰ		2
		社会・集団・家族心理学Ⅱ		2
		家族の心理学		2
		文化心理学Ⅰ		2
	I 応用・関連	文化心理学Ⅱ		2
		経営心理学		2
		教育・学校心理学		2
		産業心理学（産業・組織心理学）		2
		精神疾患とその治療		2
		心身医学		2
		司法・犯罪心理学		2
		環境とデザインの心理学		2
		職業とキャリアの心理学		2
		公認心理師の職責		2
		福祉心理学		2
		人体の構造と機能及び疾病		2
		関係行政論		2

授業科目の名称		単位数	
		必修	選択
海外留学科目	海外セメスター語学研修A		1
	海外セメスター語学研修B		2
	海外セメスター語学研修C		4
	海外セメスター語学研修D		5
	海外語学研修A		2
	海外語学研修B		2
	海外語学研修C		2
	海外語学研修D		2

注)

1. 「生理心理学実験Ⅰ」「発達心理学実験Ⅰ」「社会心理学実験Ⅰ」「認知心理学実験Ⅰ」の4科目から1科目、「生理心理学実験Ⅱ」「発達心理学実験Ⅱ」「社会心理学実験Ⅱ」「認知心理学実験Ⅱ」の4科目から1科目を選択必修とする。このとき「Ⅰ」と「Ⅱ」では異なる分野の実験を選択すること。
2. 「心理学専門演習ⅠからⅩⅡ」の12科目から2科目を選択必修とする。
3. D～Iの各領域において、各領域で4単位以上修得すること。
4. 他学科・他学部単位取得の上限は、30単位とし、専門科目の領域として扱う。
5. 「卒業論文Ⅱ」の履修には「卒業論文Ⅰ」の単位修得が必要。

【第 15 条第 6 項第 3 号別表】 公認心理師の受験資格を得るために学部で修得すべき授業科目および単位数

科目区分		指定科目	本学開講科目	授業形態	単位	時間	備考
心理学 基礎科目		公認心理師の職責	公認心理師の職責	講義	2	30	
		心理学概論	心理学概論Ⅰ	講義	2	30	
		臨床心理学概論	臨床心理学概論Ⅰ	講義	2	30	
		心理学研究法	心理学研究法	講義	2	30	
		心理学統計法	心理学統計法Ⅰ	講義	2	30	
		心理学実験	心理学基礎実験Ⅰ (心理学実験)	実験	2	90	
心理学 発展科目	基礎心理学	知覚・認知心理学	知覚・認知心理学Ⅰ	講義	2	30	感情・人格心理学の指定科目は、本学の感情・人格心理学ⅠおよびⅡを履修すること
		学習・言語心理学	学習心理学 (学習・言語心理学)	講義	2	30	
		感情・人格心理学	感情心理学 (感情・人格心理学Ⅰ)	講義	2	30	
			パーソナリティの心理学 (感情・人格心理学Ⅱ)	講義	2	30	
		神経・生理心理学	神経・生理心理学	講義	2	30	
		社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学Ⅱ	講義	2	30	
		発達心理学	発達心理学Ⅱ	講義	2	30	
		障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	講義	2	30	
		心理的アセスメント	心理的アセスメント	講義	2	30	
		心理学的支援法	心理学的支援法	講義	2	30	
	実践心理学	健康・医療心理学	健康・医療心理学	講義	2	30	
		福祉心理学	福祉心理学	講義	2	30	
		教育・学校心理学	教育・学校心理学	講義	2	30	
		司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	講義	2	30	
		産業・組織心理学	産業心理学 (産業・組織心理学)	講義	2	30	
	関連心理学 科目	人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	講義	2	30	
		精神疾患とその治療	精神疾患とその治療	講義	2	30	
		関係行政論	関係行政論	講義	2	30	
実習演習 科目	心理演習	心理演習	演習	2	30		
	心理実習	心理実習Ⅰ	実習	1	40		
		心理実習Ⅱ	実習	1	40		
合計					52		

注) 1) 公認心理師受験資格取得には、卒業要件を満たした上で上記のすべての科目を履修することが必要である。

2) 「心理演習」「心理実習Ⅰ・Ⅱ」は、卒業に必要な単位に含めることはできない。

[第 15 条第 7 項第 1 号別表]授業科目の種類および単位数

(外国語学部・英語コミュニケーション学科・国際ビジネスコミュニケーション専攻)

区分		授業科目	単位数	
			必修	選択
大学特別科目		人間共生論	2	
		データサイエンス入門	2	
		新・文明の旅特講 a		2
		新・文明の旅特講 b		2
		新・文明の旅総合講義		2
		地球環境論 I		2
		地球環境論 II		2
英語コミュニケーション科目	基礎科目	Speaking 8 a	1	
		Speaking 8 b	1	
		English for School Purposes a	1	
		English for School Purposes b	1	
		Discussion 8 a	1	
		Discussion 8 b	1	
		English for pre-Seminar Purposes a	1	
		English for pre-Seminar Purposes b	1	
		Reading I - a	1	
		Reading I - b	1	
		Reading II - a	1	
		Reading II - b	1	
		Writing I - a	1	
		Writing I - b	1	
		Writing II - a	1	
		Writing II - b	1	
		Core English I - a	1	
		Core English I - b	1	
		Core English II - a	1	
		Core English II - b	1	
		English for Seminar Purposes a	1	
		English for Seminar Purposes b	1	
		英語資格講座	1	
		Graduation ePortfolio	1	
		English Electives I	1	
		English Electives II	1	
		English Electives III	1	
		English Electives IV	1	
		English Electives V	1	
		English Electives VI	1	
		Academic Reading		1
		Academic Writing		1
		TOEFL 講座 a		1
		TOEFL 講座 b		1
		Literature		1
		Applied Writing and Research		1
		Communicative English I - a		2
		Oral Communication I - a		1
		Oral Communication I - b		1
		Oral Communication II - a		1
		Oral Communication II - b		1
		英語コミュニケーション特講 I - a		1
		英語コミュニケーション特講 I - b		1
		英語コミュニケーション特講 II - a		1
		英語コミュニケーション特講 II - b		1

区分		授業科目	単位数	
			必修	選択
基礎総合力	基礎総合力	初年次セミナー a	1	
		初年次セミナー b	1	
キャリア	キャリア	基礎ゼミ a	2	
		基礎ゼミ b	2	
基礎総合力	基礎総合力	日本語表現法入門		2
		コミュニケーション概論	2	
キャリア	キャリア	キャリアデザイン I	2	
		キャリアデザイン II	2	
基礎総合力	基礎総合力	キャリアデザイン III	2	
		健康の科学		2
基礎総合力	基礎総合力	スポーツ		1
		シーブンススポーツ		1
基礎総合力	基礎総合力	哲学		2
		芸術		2
基礎総合力	基礎総合力	マーケティング概論 a		2
		マーケティング概論 b		2
基礎総合力	基礎総合力	経済学		2
		社会学		2
基礎総合力	基礎総合力	外国文学		2
		経営学 I		2
基礎総合力	基礎総合力	経営学 II		2
		日本国憲法		2
基礎総合力	基礎総合力	法学		2
		グローバル社会と法		2
基礎総合力	基礎総合力	比較文化論 I		2
		比較文化論 II		2
基礎総合力	基礎総合力	日本語学概論		2
		国際情勢		2
基礎総合力	基礎総合力	児童心理学		2
		日本語表現法応用 I		2
基礎総合力	基礎総合力	日本語表現法応用 II		2
		ジェンダー論		2
基礎総合力	基礎総合力	アニメーション論		2
		Conference English		2
基礎総合力	基礎総合力	翻訳入門		2
		教育人間学		2
基礎総合力	基礎総合力	コミュニケーション心理学		2
		近現代史		2
基礎総合力	基礎総合力	教養特講 a		2
		教養特講 b		2
基礎総合力	基礎総合力	Screen English a		2
		Screen English b		2
基礎総合力	基礎総合力	西洋史		2
		異文化コミュニケーション		2
基礎総合力	基礎総合力	Media English		2
		Japan and International Community		2
基礎総合力	基礎総合力	Religion in Japan		2
		Japanese Society		2
基礎総合力	基礎総合力	Cool Japan		2
		Cool Japan Intercultural		2
基礎総合力	基礎総合力	Comparative Studies		2
		比較教育学		2
基礎総合力	基礎総合力	世界の言語と文化		2
		学校支援の理論および実践		2

区分		授業科目	単位数	
			必修	選択
基礎総合力科目	情報処理	情報処理演習 a	1	
		情報処理演習 b	1	
		情報システム概論		2
		I Tプロジェクトマネジメント		2
		データサイエンス応用		1
		データサイエンス実践		1
		プログラミング演習		1
		サイバーセキュリティ概論		2
	第二外国語	中国語初級総合 a		2
		中国語初級総合 b		2
		韓国・朝鮮語初級総合 a		2
		韓国・朝鮮語初級総合 b		2
		中国語初級 I－a		1
		中国語初級 I－b		1
		フランス語初級 I－a		1
		フランス語初級 I－b		1
		スペイン語初級 I－a		1
		スペイン語初級 I－b		1
		韓国・朝鮮語初級 I－a		1
		韓国・朝鮮語初級 I－b		1
		中国語初級 II－a		1
		中国語初級 II－b		1
		フランス語初級 II－a		1
		フランス語初級 II－b		1
		スペイン語初級 II－a		1
		スペイン語初級 II－b		1
		韓国・朝鮮語初級 II－a		1
		韓国・朝鮮語初級 II－b		1
		中国語中級 a		1
		中国語中級 b		1
		中国語上級 a		1
		中国語上級 b		1
		フランス語中級 a		1
		フランス語中級 b		1
		フランス語上級 a		1
		フランス語上級 b		1
		スペイン語中級 a		1
		スペイン語中級 b		1
		スペイン語上級 a		1
		スペイン語上級 b		1
		韓国・朝鮮語中級 a		1
		韓国・朝鮮語中級 b		1
		韓国・朝鮮語上級 a		1
		韓国・朝鮮語上級 b		1
		第二外国語特講 a		1
		第二外国語特講 b		1

区分			授業科目	単位数	
				必修	選択
専門科目	国際ビジネスコミュニケーション専攻	国際ビジネスコース	Japanese Business		2
			Business Planning		2
			Business case method		2
			国際アカウンティング		2
			ビジネスライティング		2
			国際経済論		2
			国際関係論		2
			国際ビジネス取引		2
			環境とビジネス		2
			国際政治経済論 a		2
			国際政治経済論 b		2
			グローバルビジネス戦略 I		2
			グローバルビジネス戦略 II		2
			国際マーケティング環境		2
			国際マーケティング戦略		2
			国際観光ビジネス論		2
			ホスピタリティ・コミュニケーション論		2
			ホテル・旅館論		2
			国際ビジネスと法		2
			英文契約書読解		2
			国際人的資源管理論 I		2
			国際人的資源管理論 II		2
			マナーと社会生活		2
			簿記会計学		2
			組織とコミュニケーション		2
			国際ビジネス特講 I－a		2
			国際ビジネス特講 I－b		2
			国際ビジネス特講 II－a		2
			国際ビジネス特講 II－b		2
	国際教養コミュニケーション専攻	国際協力コース	Social Development in Japan		2
			国際文化協力		2
			国際機構論		2
			NPO・NGO論		2
			地域研究 I		2
			地域研究 II		2
			国際人権法		2
			平和研究		2
			ジェンダーと開発		2
			国際理解・地球市民教育論		2
			国際社会開発論		2
			開発経済学		2
			農村開発論		2
			国際協力フィールド調査法 I		2
			国際協力フィールド調査法 II		2
			国際協力特講 I－a		2
			国際協力特講 I－b		2
			国際協力特講 II－a		2
			国際協力特講 II－b		2

区分			授業科目	単位数		区分	授業科目	単位数	
				必修	選択			必修	選択
専門科目	国際教養コミュニケーション専攻	英語教育コース	児童英語教育論		2	実務資格科目	インターンシップⅠ（国内）		2
			児童英語教育教材論		2		インターンシップⅡ（海外）		2
			児童英語教育実習 a		2		インターンシップⅢ（国内）		4
			児童英語教育実習 b		2		インターンシップⅣ（海外）		4
			英語音声学・音韻論 a		2		インターンシップⅤ（国内）		6
			英語音声学・音韻論 b		2		インターンシップⅥ（海外）		6
			英語学 a		2	留学科目	海外セメスター語学研修A		1
			英語学 b		2		海外セメスター語学研修B		2
			英語史 a		2		海外セメスター語学研修C		4
			英語史 b		2		海外セメスター語学研修D		5
			英語学習理論		2		海外語学研修A		2
			学校インターンシップ		2		海外語学研修B		2
		Intercultural Communication		2	海外語学研修C			2	
		異文化間教育学		2	海外語学研修D			2	
		英語教育特講Ⅰ－a		2	国内語学研修		2		
		英語教育特講Ⅰ－b		2	教職課程科目	教育原理		2	
		英語教育特講Ⅱ－a		2		教職論（チーム学校への対応を含む。）		2	
		英語教育特講Ⅱ－b		2		教育行政学（地域連携と学校安全を含む。）		2	
						教育心理学		2	
						特別支援教育		1	
						教育課程論		2	
						道徳教育の指導法		2	
						特別活動の指導法（総合的な探究の時間を含む。）		2	
						教育の方法及び技術（ICTの活用含む。）		2	
				生徒指導論（進路指導を含む。）			2		
				教育相談（カウンセリングを含む。）			2		
				教育実習の指導			1		
				教育実習Ⅰ		2			
	国際文化コース	Japanese Literature and Performing Arts		2	教育実習Ⅱ		2		
		American Government a		2	教職実践演習（中・高）		2		
		American Government b		2	英語科教育法Ⅰ		2		
		社会言語学 a		2	英語科教育法Ⅱ		2		
		社会言語学 b		2	英語科教育法Ⅲ		2		
		対照言語学 a		2	英語科教育法Ⅳ		2		
		対照言語学 b		2	外国人交換留学生科目	Basic JapaneseⅠ		4	
		イギリス文化論 a		2		Basic JapaneseⅡ		4	
イギリス文化論 b			2	Basic JapaneseⅢ			4		
アメリカ文化論 a			2						
アメリカ文化論 b			2						
イギリス文学 a			2						
イギリス文学 b		2							
アメリカ文学 a		2							
アメリカ文学 b		2							
イギリス史 a		2							
イギリス史 b		2							
日本文化論		2							
演劇論		2							
国際文化特講Ⅰ－a		2							
国際文化特講Ⅰ－b		2							
国際文化特講Ⅱ－a		2							
国際文化特講Ⅱ－b		2							
専門科目	共通	ゼミナール a	2		1. 教職課程科目は卒業に必要な単位に含めることができない。 2. 外国語学部・留学特待生プログラムを履修する学生対象の必修科目としてESP cを開講する（1単位/基礎科目）。 3. 教職課程を履修する学生には、下記5科目を必修科目と定める。 ①Communicative EnglishⅠ－a ②Oral CommunicationⅠ－a ③Oral CommunicationⅠ－b ④Oral CommunicationⅡ－a ⑤Oral CommunicationⅡ－b				
		ゼミナール b	2						
		卒業研究 a	2						
		卒業研究 b	2						
		フィールドワークⅠ		2					
		フィールドワークⅡ		2					
		フィールドワークⅢ		2					
		フィールドワークⅣ		2					

〔第15条第7項第3号別表〕 教 職〔中学校／高等学校教諭一種普通免許（英語）〕

国際ビジネスコミュニケーション専攻

● 中・高免許に必修 / ○ 中免許に必修 / ▲選択必修

免許法施行規則に定める科目区分等		授業科目名	単位数		履修方法等
科目区分	各項目に含めることが必要な事項		必	選	
科の則免 目六第許 に六法 定十施 め六行 る条規	日本国憲法	日本国憲法	●	2	
	体育	健康の科学 スポーツ シーズンスポーツ	● ▲ ▲	2 1 1	スポーツ・シーズンスポーツはいずれか1科目を選択履修すること
	外国語コミュニケーション	Communicative English I -a	●	2	
	数理・データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理演習 a 情報処理演習 b	● ●	1 1	
教科及び教科の指導法に関する科目	英語学	英語学 a 英語学 b 英語音声学・音韻論 a 英語音声学・音韻論 b 英語史 a 英語史 b	● ● 	2 2 	「教科及び教科の指導法に関する科目」から必修科目 24 単位および選択必修科目 4 単位、合計 28 単位を修得すること
		アメリカ文学 a アメリカ文学 b イギリス文学 a イギリス文学 b	● ● ● ●	2 2 2 2	
		Oral Communication I -a Oral Communication I -b Oral Communication II -a Oral Communication II -b Screen English a Screen English b Conference English	● ● ● ● 	1 1 1 1 2 2 2	
		アメリカ文化論 a アメリカ文化論 b イギリス文化論 a イギリス文化論 b American Government a American Government b	▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲	 2 2 2 2 2 2	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に関する科目				
	各教科の指導法(情報処理技術の活用を含む。)		● ● ● ●	2 2 2 2	
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		●	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		●	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		●	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		●	2	
関する科目 の基礎的 理解に 関係する 科目	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		●	1	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		●	2	
	道徳の理論及び指導法		○	2	中免のみ
	総合的な探究の時間の指導法				
	特別活動の指導法		●	2	総合的な探究の時間の指導法の理論及び方法を含む
	教育の方法及び技術(情報通信技術を活用した教育の理念及び方法を含む。)		●	2	
	生徒指導の理論及び方法		●	2	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
科に教育 実習 する科目	教育実習		● ● ○	1 2 2	中免のみ必修・高免は選択
	教育実習 I				
	教育実習 II				
	学校体験活動				
	教職実践演習		●	2	
大学が独自に設定する科目					最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて中 4 単位以上を修得、高 12 単位以上修得すること

注1) 「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実習に関する科目」は卒業に必要な単位には含めることができない。

注2) 教職履修の条件については、別途定める。

[第 15 条第 8 項第 1 号別表]授業科目の種類および単位数

(外国語学部・英語コミュニケーション学科・国際教養コミュニケーション専攻)

区分		授業科目	単位数	
			必修	選択
大学特別科目		人間共生論	2	
		データサイエンス入門	2	
		新・文明の旅特講 a		2
		新・文明の旅特講 b		2
		新・文明の旅総合講義		2
		地球環境論 I		2
		地球環境論 II		2
英語コミュニケーション科目	基礎科目	Speaking 8 a	1	
		Speaking 8 b	1	
		English for School Purposes a	1	
		English for School Purposes b	1	
		Discussion 8 a	1	
		Discussion 8 b	1	
		English for pre-Seminar Purposes a	1	
		English for pre-Seminar Purposes b	1	
		Reading I - a	1	
		Reading I - b	1	
		Reading II - a	1	
		Reading II - b	1	
		Writing I - a	1	
		Writing I - b	1	
		Writing II - a	1	
		Writing II - b	1	
		Core English I - a	1	
		Core English I - b	1	
		Core English II - a	1	
		Core English II - b	1	
		English for Seminar Purposes a	1	
		English for Seminar Purposes b	1	
		英語資格講座	1	
		Graduation ePortfolio	1	
		English Electives I	1	
		English Electives II	1	
		English Electives III	1	
		English Electives IV	1	
		English Electives V	1	
		English Electives VI	1	
		Academic Reading		1
		Academic Writing		1
		TOEFL 講座 a		1
		TOEFL 講座 b		1
		Literature		1
		Applied Writing and Research		1
		Communicative English I - a		2
		Oral Communication I - a		1
		Oral Communication I - b		1
		Oral Communication II - a		1
		Oral Communication II - b		1
		英語コミュニケーション特講 I - a		1
		英語コミュニケーション特講 I - b		1
		英語コミュニケーション特講 II - a		1
		英語コミュニケーション特講 II - b		1

区分		授業科目	単位数	
			必修	選択
基礎総合力	基礎総合力	初年次セミナー a	1	
		初年次セミナー b	1	
キャリア	キャリア	基礎ゼミ a	2	
		基礎ゼミ b	2	
基礎総合力	基礎総合力	日本語表現法入門		2
		コミュニケーション概論	2	
キャリア	キャリア	キャリアデザイン I	2	
		キャリアデザイン II	2	
基礎総合力	基礎総合力	キャリアデザイン III	2	
		健康の科学		2
基礎総合力	基礎総合力	スポーツ		1
		シーブンススポーツ		1
基礎総合力	基礎総合力	哲学		2
		芸術		2
基礎総合力	基礎総合力	マーケティング概論 a		2
		マーケティング概論 b		2
基礎総合力	基礎総合力	経済学		2
		社会学		2
基礎総合力	基礎総合力	外国文学		2
		経営学 I		2
基礎総合力	基礎総合力	経営学 II		2
		日本国憲法		2
基礎総合力	基礎総合力	法学		2
		グローバル社会と法		2
基礎総合力	基礎総合力	比較文化論 I		2
		比較文化論 II		2
基礎総合力	基礎総合力	日本語学概論		2
		国際情勢		2
基礎総合力	基礎総合力	児童心理学		2
		日本語表現法応用 I		2
基礎総合力	基礎総合力	日本語表現法応用 II		2
		ジェンダー論		2
基礎総合力	基礎総合力	アニメーション論		2
		Conference English		2
基礎総合力	基礎総合力	翻訳入門		2
		教育人間学		2
基礎総合力	基礎総合力	コミュニケーション心理学		2
		近現代史		2
基礎総合力	基礎総合力	教養特講 a		2
		教養特講 b		2
基礎総合力	基礎総合力	Screen English a		2
		Screen English b		2
基礎総合力	基礎総合力	西洋史		2
		異文化コミュニケーション		2
基礎総合力	基礎総合力	Media English		2
		Japan and International Community		2
基礎総合力	基礎総合力	Religion in Japan		2
		Japanese Society		2
基礎総合力	基礎総合力	Cool Japan		2
		Cool Japan Intercultural		2
基礎総合力	基礎総合力	Comparative Studies		2
		比較教育学		2
基礎総合力	基礎総合力	世界の言語と文化		2
		学校支援の理論および実践		2

区分		授業科目	単位数	
			必修	選択
基礎総合力科目	情報処理	情報処理演習 a	1	
		情報処理演習 b	1	
		情報システム概論		2
		I Tプロジェクトマネジメント		2
		データサイエンス応用		1
		データサイエンス実践		1
		プログラミング演習		1
		サイバーセキュリティ概論		2
	第二外国語	中国語初級総合 a		2
		中国語初級総合 b		2
		韓国・朝鮮語初級総合 a		2
		韓国・朝鮮語初級総合 b		2
		中国語初級 I－a		1
		中国語初級 I－b		1
		フランス語初級 I－a		1
		フランス語初級 I－b		1
		スペイン語初級 I－a		1
		スペイン語初級 I－b		1
		韓国・朝鮮語初級 I－a		1
		韓国・朝鮮語初級 I－b		1
		中国語初級 II－a		1
		中国語初級 II－b		1
		フランス語初級 II－a		1
		フランス語初級 II－b		1
		スペイン語初級 II－a		1
		スペイン語初級 II－b		1
		韓国・朝鮮語初級 II－a		1
		韓国・朝鮮語初級 II－b		1
		中国語中級 a		1
		中国語中級 b		1
		中国語上級 a		1
		中国語上級 b		1
		フランス語中級 a		1
		フランス語中級 b		1
		フランス語上級 a		1
		フランス語上級 b		1
		スペイン語中級 a		1
		スペイン語中級 b		1
		スペイン語上級 a		1
		スペイン語上級 b		1
		韓国・朝鮮語中級 a		1
		韓国・朝鮮語中級 b		1
		韓国・朝鮮語上級 a		1
		韓国・朝鮮語上級 b		1
		第二外国語特講 a		1
		第二外国語特講 b		1

区分			授業科目	単位数	
				必修	選択
専門科目	国際ビジネスコミュニケーション専攻	国際ビジネスコース	Japanese Business		2
			Business Planning		2
			Business case method		2
			国際アカウンティング		2
			ビジネスライティング		2
			国際経済論		2
			国際関係論		2
			国際ビジネス取引		2
			環境とビジネス		2
			国際政治経済論 a		2
			国際政治経済論 b		2
			グローバルビジネス戦略 I		2
			グローバルビジネス戦略 II		2
			国際マーケティング環境		2
			国際マーケティング戦略		2
			国際観光ビジネス論		2
			ホスピタリティ・コミュニケーション論		2
			ホテル・旅館論		2
			国際ビジネスと法		2
			英文契約書読解		2
			国際人的資源管理論 I		2
			国際人的資源管理論 II		2
			マナーと社会生活		2
			簿記会計学		2
			組織とコミュニケーション		2
			国際ビジネス特講 I－a		2
			国際ビジネス特講 I－b		2
			国際ビジネス特講 II－a		2
			国際ビジネス特講 II－b		2
	国際教養コミュニケーション専攻	国際協力コース	Social Development in Japan		2
			国際文化協力		2
			国際機構論		2
			NPO・NGO論		2
			地域研究 I		2
			地域研究 II		2
			国際人権法		2
			平和研究		2
			ジェンダーと開発		2
			国際理解・地球市民教育論		2
			国際社会開発論		2
			開発経済学		2
			農村開発論		2
			国際協力フィールド調査法 I		2
			国際協力フィールド調査法 II		2
			国際協力特講 I－a		2
			国際協力特講 I－b		2
			国際協力特講 II－a		2
			国際協力特講 II－b		2

区分			授業科目	単位数		区分	授業科目	単位数	
				必修	選択			必修	選択
専門科目	国際教養コミュニケーション専攻	英語教育コース	児童英語教育論		2	実務資格科目	インターンシップⅠ（国内）		2
			児童英語教育教材論		2		インターンシップⅡ（海外）		2
	国際文化コース		児童英語教育実習 a		2		インターンシップⅢ（国内）		4
			児童英語教育実習 b		2		インターンシップⅣ（海外）		4
			英語音声学・音韻論 a		2		インターンシップⅤ（国内）		6
			英語音声学・音韻論 b		2		インターンシップⅥ（海外）		6
			英語学 a		2	留学科目	海外セメスター語学研修A		1
			英語学 b		2		海外セメスター語学研修B		2
			英語史 a		2		海外セメスター語学研修C		4
			英語史 b		2		海外セメスター語学研修D		5
			英語学習理論		2		海外語学研修A		2
			学校インターンシップ		2		海外語学研修B		2
			Intercultural Communication		2		海外語学研修C		2
			異文化間教育学		2		海外語学研修D		2
			英語教育特講Ⅰ－a		2		国内語学研修		2
			英語教育特講Ⅰ－b		2	教職課程科目	教育原理		2
			英語教育特講Ⅱ－a		2		教職論（チーム学校への対応を含む。）		2
			英語教育特講Ⅱ－b		2		教育行政学（地域連携と学校安全を含む。）		2
			Japanese Literature and Performing Arts		2		教育心理学		2
			American Government a		2		特別支援教育		1
			American Government b		2		教育課程論		2
			社会言語学 a		2		道徳教育の指導法		2
			社会言語学 b		2		特別活動の指導法（総合的な探究の時間を含む。）		2
			対照言語学 a		2		教育の方法及び技術（ICTの活用含む。）		2
			対照言語学 b		2		生徒指導論（進路指導を含む。）		2
			イギリス文化論 a		2		教育相談（カウンセリングを含む。）		2
			イギリス文化論 b		2		教育実習の指導		1
			アメリカ文化論 a		2		教育実習Ⅰ		2
			アメリカ文化論 b		2		教育実習Ⅱ		2
			イギリス文学 a		2		教職実践演習（中・高）		2
			イギリス文学 b		2		英語科教育法Ⅰ		2
			アメリカ文学 a		2		英語科教育法Ⅱ		2
			アメリカ文学 b		2		英語科教育法Ⅲ		2
			イギリス史 a		2		英語科教育法Ⅳ		2
			イギリス史 b		2	外国人交換留学生科目	Basic JapaneseⅠ		4
			日本文化論		2		Basic JapaneseⅡ		4
			演劇論		2		Basic JapaneseⅢ		4
専門科目	共通		国際文化特講Ⅰ－a		2	1. 教職課程科目は卒業に必要な単位に含めることができない。 2. 外国語学部・留学特待生プログラムを履修する学生対象の必修科目としてESP cを開講する（1単位/基礎科目）。 3. 教職課程を履修する学生には、下記5科目を必修科目と定める。 ①Communicative EnglishⅠ－a ②Oral CommunicationⅠ－a ③Oral CommunicationⅠ－b ④Oral CommunicationⅡ－a ⑤Oral CommunicationⅡ－b			
			国際文化特講Ⅰ－b		2				
			国際文化特講Ⅱ－a		2				
			国際文化特講Ⅱ－b		2				
			ゼミナール a	2					
			ゼミナール b	2					
			卒業研究 a	2					
			卒業研究 b	2					
			フィールドワークⅠ		2				
			フィールドワークⅡ		2				
			フィールドワークⅢ		2				
			フィールドワークⅣ		2				

〔第 15 条第 8 項第 3 号別表〕 教 職〔中学校／高等学校教諭一種普通免許（英語）〕

国際教養コミュニケーション専攻

● 中・高免許に必修 / ○ 中免許に必修 / ▲選択必修

免許法施行規則に定める科目区分等		授業科目名	単位数		履修方法等
科目区分	各項目に含めることが必要な事項		必	選	
科の則免 目六第許 に六法 定十施 め六行 る条規	日本国憲法	日本国憲法	●	2	
	体育	健康の科学 スポーツ シーズンスポーツ	● ▲ ▲	2 1 1	スポーツ・シーズンスポーツはいずれか 1 科目を選択履修すること
	外国語コミュニケーション	Communicative English I -a	●	2	
	数理・データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理演習 a 情報処理演習 b	● ●	1 1	
	英語学	英語学 a 英語学 b 英語音声学・音韻論 a 英語音声学・音韻論 b 英語史 a 英語史 b	● ● 	2 2 2 2 2 2	「教科及び教科の指導法に関する科目」から必修科目 24 単位および選択必修科目 4 単位、合計 28 単位を修得すること 「アメリカ文化論 a」 「アメリカ文化論 b」または 「イギリス文化論 a」 「イギリス文化論 b」または 「American Government a」 「American Government b」 の組み合わせから、 2 科目 4 単位以上を修得すること
教科及び教科の指導法に関する科目	英語文学	アメリカ文学 a アメリカ文学 b イギリス文学 a イギリス文学 b	● ● ● ●	2 2 2 2	
	英語コミュニケーション	Oral Communication I -a Oral Communication I -b Oral Communication II -a Oral Communication II -b Screen English a Screen English b Conference English	● ● ● ● ●	1 1 1 1 2 2 2	
	異文化理解	アメリカ文化論 a アメリカ文化論 b イギリス文化論 a イギリス文化論 b American Government a American Government b	▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲	2 2 2 2 2 2	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に関する科目				
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	英語科教育法 I 英語科教育法 II 英語科教育法 III 英語科教育法 IV	● ● ● ●	2 2 2 2	
関する教育の基 礎的理 解に	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	●	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論(チーム学校への対応を含む。)	●	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学(地域連携と学校安全を含む。)	●	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	●	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	●	1	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	●	2	
指導、教育相 談等に関する 科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の指導法	○	2	中免のみ
	総合的な探究の時間の指導法				
	特別活動の指導法	特別活動の指導法(総合的な探究の時間を含む。)	●	2	総合的な探究の時間の指導法の理論及び方法を含む
	教育の方法及び技術(情報通信技術を活用した教育の理念及び方法を含む。)	教育の方法及び技術(ICTの活用含む。)	●	2	
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(進路指導を含む。)	●	2	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	教育相談(カウンセリングを含む。)	●	2	
科に教 育実 習に 関する 科目	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	教育実習	教育実習の指導 教育実習 I 教育実習 II	● ● ○	1 2 2	中免のみ必修・高免は選択
	学校体験活動				
	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	●	2	
大学が独自に設定する科目					最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて中 4 単位以上を修得、高 12 単位以上修得すること

注 1) 「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な探究の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実習に関する科目」は卒業に必要な単位には含めることができない。

注 2) 教職履修の条件については、別途定める。

第 15 条第 11 項第 1 号別表 授業科目の種類および単位数

<保健医療技術学部 臨床検査学科>

授業科目の名称				単位数	
				必修	選択
基礎分野	科学的思考の基礎・人間と生活・社会の理解	大学特別科目	人間共生論	2	
			新・文明の旅特講 a		2
			新・文明の旅特講 b		2
			新・文明の旅総合講義		2
			地球環境論Ⅰ		2
			地球環境論Ⅱ		2
			データサイエンス入門	2	
		心理学概論 数物科学 基礎化学 化学（無機・有機） 化学実習（無機・有機） 生物学 人間関係論 保健体育学 保健体育学実習 英語Ⅰ 英語Ⅱ 医療英語演習Ⅰ a 医療英語演習Ⅰ b 海外短期フィールドワークⅠ（北米）		2	1
				2	
				2	
				2	
				1	
				2	
				2	
				2	
				1	
	学部共通留学関係科目	海外セメスター語学研修 A			1
		海外セメスター語学研修 B			2
		海外セメスター語学研修 C			4
		海外セメスター語学研修 D			5
		海外語学研修 A			2
		海外語学研修 B			2
		海外語学研修 C			2
		海外語学研修 D			2
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ		1	
		解剖学Ⅱ		1	
		解剖学実習		1	
		生理学Ⅰ		1	
		生理学Ⅱ		1	
		生化学Ⅰ		1	
		生化学Ⅱ		1	
		生化学実習		1	
	疾病との関	病理学		2	
		栄養と薬理		1	
		チーム医療概論		2	
		健康食品総論			2
	保健医療福祉と臨床検査	公衆衛生学Ⅰ		1	
		公衆衛生学Ⅱ		1	
		公衆衛生学実習		1	
		統計学		2	
	医療情報	保健医療福祉総論		2	
		医用工学概論		1	
		医用工学実習		1	
		情報科学		2	

授業科目の名称			単位数	
			必修	選択
専門分野	病態学	臨床化学検査学Ⅰ c	1	
		臨床医学総論Ⅰ	1	
		臨床医学総論Ⅱ	1	
		救急総論		2
		臨床病理学	2	
		病態解析学	2	
	血液学的検査	血液検査学Ⅰ	1	
		血液検査学Ⅱ	1	
		血液検査学実習Ⅰ	1	
		血液検査学実習Ⅱ	1	
	病理学的検査	臨床検査概論	1	
		病理検査学Ⅰ	1	
		病理検査学Ⅱ	1	
		病理検査学実習	2	
	尿・糞便等一般検査	一般検査学Ⅰ	1	
		一般検査学Ⅱ	1	
		一般検査学実習	1	
		医動物学Ⅰ	1	
		医動物学Ⅱ(含む実習)	1	
	生化学的検査・免疫学的検査	臨床化学検査学Ⅰ a	1	
		臨床化学検査学Ⅰ b	1	
		臨床化学検査学Ⅱ	1	
		臨床化学検査学実習	2	
		免疫学	1	
	染色体関連遺伝子検査	遺伝子検査学	1	
		遺伝子検査学実習	1	
		分子生物学	2	
	移植・輸血検査	免疫検査学	2	
		免疫検査学実習	2	
	微生物学的検査	微生物学	1	
		微生物検査学	2	
		微生物検査学実習Ⅰ	1	
		微生物検査学実習Ⅱ	2	
	生理学的検査	生理・画像検査学Ⅰ	3	
		生理・画像検査学Ⅱ	2	
		生理・画像検査学実習Ⅰ	2	
		生理・画像検査学実習Ⅱ	1	
		生理・画像検査学Ⅲ	1	
	臨床検査総合管理	医療心理学	1	
		検査管理総論	2	
		総合臨床検査学Ⅰ	1	
		総合臨床検査学Ⅱ	1	
		医療情報処理演習	1	
		検査機器総論(含む実習)	1	
		チーム医療論Ⅰ	1	
		実験動物学		2
	医療安全管理	医療リスクマネジメント	2	
		生命科学(生命倫理)	2	
	卒業研究		10	
	臨地実習	臨地実習前技能実習	1	
		臨地実習	11	

1. 他学科・他学部の単位取得の上限は、30単位とし、基礎分野の科学的思考の基礎・人間と生活科目の領域として扱う。
2. 「新・文明の旅特講 a, b」は2年生、3年生も履修できる。

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授業科目名	単位数		備 考
				必修	選択	
基礎分野	科学的思考の基盤 f 人間と生活・社会の理解	14	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目を含め、17 単位以上修得すること。
			新・文明の旅特講 a		2	
			新・文明の旅特講 b		2	
			新・文明の旅総合講義		2	
			データサイエンス入門	2		
			地球環境論 I		2	
			地球環境論 II		2	
			心理学概論	2		
			数物科学	2		
			基礎化学		1	
			化学（無機・有機）	2		
			化学実習（無機・有機）	1		
			生物学	2		
			人間関係論		2	
			保健体育学		2	
			保健体育学実習		1	
	学部共通留学関係科目		英語 I	1		
			英語 II	1		
			医療英語演習 I a	1		
			医療英語演習 I b	1		
			海外短期フィールドワーク I（北米）		2	
			海外セメスター語学研修 A		1	
			海外セメスター語学研修 B		2	
			海外セメスター語学研修 C		4	
			海外セメスター語学研修 D		5	
			海外語学研修 A		2	
			海外語学研修 B		2	
			海外語学研修 C		2	
			海外語学研修 D		2	
	(小計)	(14)		17	38	
専門基礎分野	人体の構造と機能	8	解剖学 I	1		専門基礎分野において、必修科目 24 単位修得すること。
			解剖学 II	1		
			解剖学実習	1		
			生理学 I	1		
			生理学 II	1		
			生化学 I	1		
			生化学 II	1		
			生化学実習	1		
	臨床検査の基礎とその疾病との関連	5	病理学	2		
			栄養と薬理	1		
			チーム医療概論	2		
			健康食品総論		2	
	保健医療福祉と臨床検査	4	公衆衛生学 I	1		
			公衆衛生学 II	1		
			公衆衛生学実習	1		
			統計学	2		
			保健医療福祉総論	2		
	医療工学及び情報科学	4	医用工学概論	1		
			医用工学実習	1		
			情報科学	2		
	(小計)	(21)		24	2	

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授業科目名	単位数		備 考
				必修	選択	
専門分野	病態学	7	臨床化学検査学Ⅰc 臨床医学総論Ⅰ 臨床医学総論Ⅱ 救急総論 臨床病理学 病態解析学	1 1 1 2 2	2	専門分野において、必修科目を含めて、84単位以上修得すること。
	血液学的検査	4	血液検査学Ⅰ 血液検査学Ⅱ 血液検査学実習Ⅰ 血液検査学実習Ⅱ	1 1 1 1		
	病理学的検査	5	臨床検査概論 病理検査学Ⅰ 病理検査学Ⅱ 病理検査学実習	1 1 1 2		
	尿・糞便等一般検査	3	一般検査学Ⅰ 一般検査学Ⅱ 一般検査学実習 医動物学Ⅰ 医動物学Ⅱ(含む実習)	1 1 1 1 1		
	生化学的検査・免疫学的検査	6	臨床化学検査学Ⅰa 臨床化学検査学Ⅰb 臨床化学検査学Ⅱ 臨床化学検査学実習 免疫学	1 1 1 2 1		
	遺伝子関連・染色体検査	2	遺伝子検査学 遺伝子検査学実習 分子生物学	2 1 1		
	輸血・移植検査	4	免疫検査学 免疫検査学実習	2 2		
	微生物学的検査	6	微生物学 微生物検査学 微生物検査学実習Ⅰ 微生物検査学実習Ⅱ	1 2 1 2		
	生理学的検査	10	生理・画像検査学Ⅰ 生理・画像検査学Ⅱ 生理・画像検査学実習Ⅰ 生理・画像検査学実習Ⅱ 生理・画像検査学Ⅲ 医療心理学	3 2 2 1 1 1		
	臨床検査総合管理	6	検査管理総論 総合臨床検査学Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ 医療情報処理演習 検査機器総論(含む実習) チーム医療論Ⅰ 実験動物学	2 1 1 1 1 1 1		
	医療安全管理	2	医療リスクマネジメント 生命科学(生命倫理)	2 2		
	卒業研究		卒業研究	10		
	臨地実習	12	臨地実習前技能実習 臨地実習	1 11		
(小計)		(67)		84	4	
合計		102		127	52	

第 15 条第 12 項第 1 号別表 授業科目の種類および単位数

<保健医療技術学部 看護学科>

授業科目の名称				単位数	
				必修	選択
基礎分野	人間と生活・社会の理解および科学的思考の基礎	大学特別科目	人間共生論	2	
			新・文明の旅特講 a		2
			新・文明の旅特講 b		2
			新・文明の旅総合講義		2
			地球環境論Ⅰ		2
			地球環境論Ⅱ		2
			データサイエンス入門	2	
			心理学概論	2	
		学部共通留学関係科目	生命科学（生命倫理）	2	
			哲学		2
			法学		2
			医療心理学		2
			保健体育学		2
			保健体育学実習		1
			英語Ⅰ	1	
			英語Ⅱ	1	
			医療英語演習	1	
			統計学（保健統計学含む）	2	
			看護基礎科学Ⅰ	2	
			看護基礎科学Ⅱ	2	
			基礎ゼミナールⅠ	1	
			基礎ゼミナールⅡ	1	
			看護ゼミナールⅠ	1	
			海外短期フィールドワークⅠ（北米）		2
専門基礎分野	人間の構造と機能 および心身の発達	学部共通留学関係科目	海外セメスター語学研修 A		1
			海外セメスター語学研修 B		2
			海外セメスター語学研修 C		4
			海外セメスター語学研修 D		5
			海外語学研修 A		2
			海外語学研修 B		2
			海外語学研修 C		2
			海外語学研修 D		2
		人間の構造と機能 および心身の発達	人体の構造と機能Ⅰ（解剖学）	3	
			人体の構造と機能Ⅱ（生理学）	3	
			生化学	2	
			栄養学	1	
			臨床栄養学	1	
			運動学		1
			人間の発達と健康Ⅰ（母胎期～青年期）	2	
			人間の発達と健康Ⅱ（成人期～老年期）	2	
	健康回復の促進	人間の構造と機能 および心身の発達	病理学	2	
			微生物学	2	
			生体防御学	1	
			臨床薬理学	2	
			病態治療学Ⅰ	2	
			病態治療学Ⅱ	2	
			臨床検査学	2	
	健康の保持・増進	人間の構造と機能 および心身の発達	公衆衛生学	1	
			疫学	2	
			社会保障論	2	
			社会福祉論		2
			医療安全学	1	

授業科目の名称				単位数	
				必修	選択
専門分野	看護の基本	看護の基本	看護学概論	2	
			看護コミュニケーション論	1	
			看護展開論	1	
			看護倫理学	1	
			アセスメントと看護技術Ⅰ	1	
			アセスメントと看護技術Ⅱ	2	
			アセスメントと看護技術Ⅲ	2	
			アセスメントと看護技術Ⅳ	2	
			地域看護論	2	
			健康教育論	1	
			基礎看護学実習Ⅰ	1	
			基礎看護学実習Ⅱ	2	
	看護実践の基盤	看護実践の基盤	成人看護学Ⅰ（慢性期）	1	
			成人看護学Ⅱ（慢性期）	2	
			成人看護学Ⅲ（急性期）	3	
			終末期看護論	1	
			救急救命看護論		1
			家族看護論Ⅰ	1	
			家族看護論Ⅱ	1	
			在宅看護論	2	
			外来看護論	1	
			母性看護学Ⅰ	1	
			母性看護学Ⅱ	2	
			小児看護学Ⅰ	1	
	看護の実践	看護の実践	小児看護学Ⅱ	2	
			精神看護学	3	
			老年看護学	3	
			臨床看護技術演習	1	
			公衆衛生看護学概論	2	
			公衆衛生看護学活動論		2
			公衆衛生看護学管理論		2
	看護の統合	看護の統合	成人看護学実習（急性期）	3	
			成人看護学実習（慢性期）	3	
			老年看護学実習	3	
			外来看護学実習	1	
			母性看護学実習	2	
			小児看護学実習	2	
			精神看護学実習	2	
			公衆衛生看護学実習		4
	看護の統合	看護の統合	産業保健看護学実習		1
			看護研究概論	1	
			看護管理学	2	
			チーム医療論Ⅰ	1	
			国際看護学		1
			災害看護学		1
			統合ゼミナール	1	
			統合実習	4	

1. 他学科・他学部の単位取得の上限は、30単位とし、基礎分野の科学的思考の基礎・人間と生活科目の領域として扱う。
2. 「新・文明の旅特講 a, b」は2年生、3年生も履修できる。

学則第15条第12項第4号別表 看護師の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授業科目	単位数		備考
				必修	選択	
基礎分野	人間と生活・社会の理解 および科学的思考の基盤	14	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目を含め、19単位以上修得すること。
			新・文明の旅特講 a		2	
			新・文明の旅特講 b		2	
			新・文明の旅総合講義		2	
			地球環境論Ⅰ		2	
			地球環境論Ⅱ		2	
			データサイエンス入門	2		
			心理学概論	2		
			生命科学（生命倫理）	2		
			哲学		2	
			法学		2	
			医療心理学		2	
			保健体育学		2	
			保健体育学実習		1	
			英語Ⅰ	1		
			英語Ⅱ	1		
			医療英語演習	1		
			統計学（保健統計学含む）	2		
			看護基礎科学Ⅰ	2		
			看護基礎科学Ⅱ	2		
			基礎ゼミナールⅠ	1		
			基礎ゼミナールⅡ	1		
			看護ゼミナールⅠ	1		
			海外短期フィールドワークⅠ（北米）		2	
			海外セメスター語学研修A		1	
			海外セメスター語学研修B		2	
			海外セメスター語学研修C		4	
			海外セメスター語学研修D		5	
			海外語学研修A		2	
			海外語学研修B		2	
			海外語学研修C		2	
			海外語学研修D		2	
(小計)	(14)		20	41		
専門基礎分野	人体の構造と機能 および心身の発達	22	人体の構造と機能Ⅰ（解剖学）	3		専門基礎分野において、必修科目を含め、33単位以上修得すること。
			人体の構造と機能Ⅱ（生理学）	3		
			生化学	2		
			栄養学	1		
			臨床栄養学	1		
			運動学		1	
			人間の発達と健康Ⅰ（母胎期～青年期）	2		
			人間の発達と健康Ⅱ（成人期～老年期）	2		
	疾病の成り立ちと 健康回復の促進		病理学	2		
			微生物学	2		
			生体防御学	1		
			臨床薬理学	2		
			病態治療学Ⅰ	2		
			病態治療学Ⅱ	2		
	健康の保持・ 増進と社会保障		臨床検査学	2		
			公衆衛生学	1		
疫学		2				
社会保障論		2				
(小計)	(22)		33	3		
		看護学概論	2			
		看護コミュニケーション論	1			
		看護展開論	1			
		看護倫理学	1			
		アセスメントと看護技術Ⅰ	1			
		アセスメントと看護技術Ⅱ	2			

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授業科目	単位数		備考
				必修	選択	
専門分野	看護の基盤	66 (うち臨地実習23)	アセスメントと看護技術Ⅲ	2		専門分野において、必修科目を含め、70単位以上修得すること。
			アセスメントと看護技術Ⅳ	2		
			地域看護論	2		
			健康教育論	1		
			基礎看護学実習Ⅰ	1		
			基礎看護学実習Ⅱ	2		
	看護実践の基盤		成人看護学Ⅰ（慢性期）	1	1	
			成人看護学Ⅱ（慢性期）	2		
			成人看護学Ⅲ（急性期）	3		
			終末期看護論	1		
			救急救命看護論			
			家族看護論Ⅰ	1		
			家族看護論Ⅱ	1		
			在宅看護論	2		
			外来看護論	1		
			母性看護学Ⅰ	1		
			母性看護学Ⅱ	2		
			小児看護学Ⅰ	1		
			小児看護学Ⅱ	2		
			精神看護学	3		
			老年看護学	3		
			臨床看護技術演習	1		
			公衆衛生看護学概論	2		
			公衆衛生看護活動論 ※			
	公衆衛生看護管理論 ※			2		
	看護の実践		成人看護学実習（急性期）	3		
			成人看護学実習（慢性期）	3		
			老年看護学実習	3		
外来看護実習		1				
母性看護学実習		2				
小児看護学実習		2				
精神看護学実習		2				
公衆衛生看護学実習 ※			4			
産業保健看護学実習 ※			1			
看護の統合	看護研究概論	1	1 1			
	看護管理学	2				
	チーム医療論Ⅰ	1				
	国際看護学					
	災害看護学					
	統合ゼミナール	1				
	統合実習	4				
(小計)	(66)		70	12		
合計	102		123	56		

※注意事項

保健師国家試験受験資格の資格要件を満たすためには、専門基礎分野において次の選択科目「社会福祉論」、および専門分野において次の選択科目「公衆衛生看護活動論」「公衆衛生看護管理論」「公衆衛生看護学実習」「産業保健看護学実習」は、必ず履修し修得すること。

学則第15条第12項第5号別表 保健師の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授業科目	単位数		備考
				必修	選択	
基礎分野	人間と生活・社会の理解 および科学的思考の基盤	14	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目を含め、19単位以上修得すること。
			新・文明の旅特講 a		2	
			新・文明の旅特講 b		2	
			新・文明の旅総合講義		2	
			地球環境論Ⅰ		2	
			地球環境論Ⅱ		2	
			データサイエンス入門	2		
			心理学概論	2		
			生命科学（生命倫理）	2		
			哲学		2	
			法学		2	
			医療心理学		2	
			保健体育学		2	
			保健体育学実習		1	
			英語Ⅰ	1		
			英語Ⅱ	1		
			医療英語演習	1		
			統計学（保健統計学含む）	2		
			看護基礎科学Ⅰ	2		
			看護基礎科学Ⅱ	2		
			基礎ゼミナールⅠ	1		
			基礎ゼミナールⅡ	1		
			看護ゼミナールⅠ	1		
			海外短期フィールドワークⅠ（北米）		2	
			海外セメスター語学研修A		1	
			海外セメスター語学研修B		2	
			海外セメスター語学研修C		4	
			海外セメスター語学研修D		5	
			海外語学研修A		2	
			海外語学研修B		2	
			海外語学研修C		2	
			海外語学研修D		2	
(小計)	(14)		20	41		
専門基礎分野	人体の構造と機能 および心身の発達	22	人体の構造と機能Ⅰ（解剖学）	3	1	専門基礎分野において、必修科目を含め、35単位以上修得すること。
			人体の構造と機能Ⅱ（生理学）	3		
			生化学	2		
			栄養学	1		
			臨床栄養学	1		
			運動学			
			人間の発達と健康Ⅰ（母胎期～青年期）	2		
			人間の発達と健康Ⅱ（成人期～老年期）	2		
	疾病の成り立ちと 健康回復の促進		病理学	2		
			微生物学	2		
			生体防御学	1		
			臨床薬理学	2		
			病態治療学Ⅰ	2		
			病態治療学Ⅱ	2		
	健康の保持・ 増進と社会保障		臨床検査学	2		
			公衆衛生学	1		
			疫学	2		
			社会保障論	2		
			社会福祉論	2		
			医療安全学	1		
(小計)	(22)		35	1		

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授業科目	単位数		備考
				必修	選択	
専門分野	看護の基本	66 (うち臨地実習23)	看護学概論	2		専門分野において、必修科目を含め、79単位以上修得すること。
			看護コミュニケーション論	1		
			看護展開論	1		
			看護倫理学	1		
			アセスメントと看護技術Ⅰ	1		
			アセスメントと看護技術Ⅱ	2		
			アセスメントと看護技術Ⅲ	2		
			アセスメントと看護技術Ⅳ	2		
			地域看護論	2		
			健康教育論	1		
			基礎看護学実習Ⅰ	1		
			基礎看護学実習Ⅱ	2		
	看護実践の基盤		成人看護学Ⅰ（慢性期）	1	1	
			成人看護学Ⅱ（慢性期）	2		
			成人看護学Ⅲ（急性期）	3		
			終末期看護論	1		
			救急救命看護論			
			家族看護論Ⅰ	1		
			家族看護論Ⅱ	1		
			在宅看護論	2		
			外来看護論	1		
			母性看護学Ⅰ	1		
			母性看護学Ⅱ	2		
			小児看護学Ⅰ	1		
			小児看護学Ⅱ	2		
			精神看護学	3		
			老年看護学	3		
			臨床看護技術演習	1		
公衆衛生看護学概論	2					
公衆衛生看護活動論	2					
公衆衛生看護管理論	2					
看護の実践	成人看護学実習(急性期)	3				
	成人看護学実習(慢性期)	3				
	老年看護学実習	3				
	外来看護実習	1				
	母性看護学実習	2				
	小児看護学実習	2				
	精神看護学実習	2				
	公衆衛生看護学実習	4				
	産業保健看護学実習	1				
看護の統合	看護研究概論	1	1 1			
	看護管理学	2				
	チーム医療論Ⅰ	1				
	国際看護学					
	災害看護学					
	統合ゼミナール	1				
	統合実習	4				
	(小計)	(66)	79	3		
	合計	102	134	45		

※注意事項

保健師免許取得後に養護教諭2種免許の申請をする場合には、次の選択科目「法学」「保健体育学」「保健体育学実習」を履修し修得すること。

学則第15条13項(1) GCI教育課程 授業科目の種類および単位数

科目区分	授業科目	単位数		
		必修	選択必修	選択
英語科目群	GCI Speaking 8 a	1		
	GCI Speaking SP a			1
	GCI Reading a	1		
	GCI Writing a	1		
	GCI Speaking 8 b	1		
	GCI Speaking SP b			1
	GCI Reading b	1		
	GCI Writing b	1		
	Global Englishes a	2		
	Global Englishes b	2		
	Global Englishes SP a			1
	Global Englishes SP b			1
	Project Learning a	2		
	Project Learning b	2		
	Field Research a			2
	Field Research b			2
	e-Learning I			1
	e-Learning II			1
	e-Learning III			1
	e-Learning IV			1
	e-Learning V			1
	e-Learning VI			1
	e-Learning VII			1
	e-Learning VIII			1
共通科目群	グローバル英語概論	2		
	欧米の地域とマーケット		2	
	アジアの地域とマーケット		2	
	Project Based Learning		2	
	異文化コミュニケーション			2
	GCI 特講 I			2
	GCI 特講 II			2

科目区分	授業科目	単位数		
		必修	選択必修	選択
学部発展科目群	共通		2	
				2
				2
				2
				2
				2
				2
	経営学部		2	
			2	
	外国語学部		2	
			2	
	保健医療技術学部		2	
			2	
キャリア科目群	グローバルステージ I グローバルステージ II グローバルステージ実践 グローバルインターンシップ A グローバルインターンシップ B グローバルインターンシップ C	2		
				2
				2
				2
				4
				6
海外研修短期	語学・異文化理解留学 長期語学・異文化理解留学 A 長期語学・異文化理解留学 B 長期語学・異文化理解留学 C 長期語学・異文化理解留学 D			2
				1
				2
				4
				8

＜保健医療技術学部 理学療法学科＞

授業科目の名称			単位数	
			必修	選択
専門分野	基礎理学療法学	理学療法学概論	1	1
		理学療法学概論演習	1	
		Evidence Based Physical Therapy	1	
		臨床実習入門	1	
		運動解剖学	1	
		身体適応科学	1	
		理学療法ゼミナールⅠ	1	
		理学療法ゼミナールⅡ	1	
	理学療法ゼミナールⅢ	1		
	理学療法管理学	理学療法管理学Ⅰ	1	
		理学療法管理学Ⅱ	1	
	理学療法評価学	機能診断技術学Ⅰ	1	
		機能診断技術学Ⅱ	1	
		機能診断技術学Ⅲ	1	
		機能診断技術学Ⅳ	1	
		機能診断技術学Ⅴ	1	
		画像評価学	1	
	理学療法治療学	運動療法学総論	1	
		運動療法学基礎実習	1	
		運動器系理学療法学Ⅰ	1	
		運動器系理学療法学Ⅱ	1	
		中枢神経系理学療法学Ⅰ	1	
		中枢神経系理学療法学Ⅱ	1	
		内部障害理学療法学Ⅰ	1	
		内部障害理学療法学Ⅱ	1	
		代謝系理学療法学演習		
		こどもの理学療法学	1	
		物理療法学Ⅰ	1	
		物理療法学Ⅱ	1	
		義肢装具学Ⅰ	1	
		義肢装具学Ⅱ	1	
		日常生活活動学Ⅰ	1	
		日常生活活動学Ⅱ	1	
		理学療法インテグレーションⅠ	1	
		理学療法インテグレーションⅡ	1	
		テーピングスキル		
スリングセラピースキル				
インソールスキル				
スポーツ理学療法学Ⅰ				
スポーツ理学療法学Ⅱ				
口腔理学療法学				
臨床バイオメカニクス	1			
マニュアルセラピー				
ウーマンズヘルスケア				
予防理学療法学	1			
理学療法特論				
地域理学療法学	地域理学療法学	1		
	地域理学療法学演習	1		
	バリアフリー	1		
臨床実習	見学実習	1		
	評価実習Ⅰ	3		
	評価実習Ⅱ	5		
	臨床実習アセスメントⅠ	1		
	総合臨床実習	8		
	臨床実習アセスメントⅡ	1		
	地域理学療法実習	1		
卒業研究	卒業研究	4		

1. 他学科・他学部の単位取得の上限は、30単位とし、基礎分野の科学的思考の基礎・人間と生活・社会の理解の科目の領域として扱う。
2. 「新・文明の旅特講 a、b」は2年生、3年生も履修できる。

学則第 15 条第 9 項第 4 号別表 理学療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授業科目	単位数		備 考
				必修	選択	
基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	14	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目(20 単位)を含め、24 単位以上修得すること。
			新・文明の旅特講 a		2	
			新・文明の旅特講 b		2	
			新・文明の旅総合講義		2	
			地球環境論Ⅰ		2	
			地球環境論Ⅱ		2	
			データサイエンス入門	2		
			心理学概論	1		
			物理学	2		
			ヒューマンバイオロジ	2		
			生命倫理	1		
			統計学	2		
			保健体育学演習Ⅰ		1	
			保健体育学演習Ⅱ		1	
基礎分野	学部共通留学関係科目	14	医療経済学		1	基礎分野において、必修科目(20 単位)を含め、24 単位以上修得すること。
			人間関係論	1		
			人間関係論演習		1	
			英語演習Ⅰ	2		
			英語演習Ⅱ	2		
			海外短期フィールドワークⅠ(北米)		2	
			海外短期フィールドワークⅡ(アジア)		2	
			情報科学	2		
			スタディスキル	1		
			海外セメスター語学研修 A		1	
			海外セメスター語学研修 B		2	
			海外セメスター語学研修 C		4	
			海外セメスター語学研修 D		5	
			海外語学研修 A		2	
			海外語学研修 B		2	
			海外語学研修 C		2	
			海外語学研修 D		2	
	(小計)	14		20	38	
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	12	解剖学Ⅰ	1		専門基礎分野において、必修科目を含め、32 単位以上修得すること。
			解剖学Ⅱ	1		
			解剖学Ⅲ	1		
			解剖学Ⅳ	1		
			解剖学Ⅴ	1		
			解剖学実習	1		
			生理学Ⅰ	1		
			生理学Ⅱ	1		
			生理学Ⅲ	1		
			生理学実習	1		
			運動学Ⅰ	1		
			運動学Ⅱ	1		
			運動学Ⅲ	1		
			人間発達学	1		
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	14	病理学	1		
			リハビリテーション概論	1		
			Basic Life Support	1		
			臨床医学内科	1		
			リハビリテーション内科	1		
			臨床医学整形外科	1		
			リハビリテーション整形外科	1		
			臨床医学神経内科	1		
			リハビリテーション神経内科	1		
			臨床医学小児科	1		
			臨床医学精神科	1		
			臨床心理学	1		
			薬理学	1		
			栄養学	1		
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	4	多職種連携論	1		
			リハビリテーション入門	1		
			公衆衛生学	1		
			医療リスクマネジメント	1		
	(小計)	30	社会福祉概論		1	
				32	1	

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授業科目	単位数		備 考
				必修	選択	
専門分野	基礎理学療法学	6	理学療法学概論	1		専門分野において、必修科目を含めて、69 単位以上修得すること。
			理学療法学概論演習	1		
			Evidence Based Physical Therapy	1		
			臨床実習入門	1		
			運動解剖学	1		
			身体適応科学	1		
			理学療法ゼミナールⅠ	1		
			理学療法ゼミナールⅡ	1		
			理学療法ゼミナールⅢ	1		
	理学療法管理学	2	理学療法管理学Ⅰ	1		
			理学療法管理学Ⅱ	1		
	理学療法評価学	6	機能診断技術学Ⅰ	1		
			機能診断技術学Ⅱ	1		
			機能診断技術学Ⅲ	1		
			機能診断技術学Ⅳ	1		
			機能診断技術学Ⅴ	1		
			画像評価学	1		
	理学療法治療学	20	運動療法学総論	1		
			運動療法学基礎実習	1		
			運動器系理学療法学Ⅰ	1		
			運動器系理学療法学Ⅱ	1		
			中枢神経系理学療法学Ⅰ	1		
			中枢神経系理学療法学Ⅱ	1		
			内部障害理学療法学Ⅰ	1		
			内部障害理学療法学Ⅱ	1		
			代謝系理学療法学演習		1	
			こどもの理学療法学	1		
			物理療法学Ⅰ	1		
			物理療法学Ⅱ	1		
			義肢装具学Ⅰ	1		
			義肢装具学Ⅱ	1		
			日常生活活動学Ⅰ	1		
			日常生活活動学Ⅱ	1		
			理学療法インテグレーションⅠ	1		
			理学療法インテグレーションⅡ	1		
			テーピングスキル		1	
			スリングセラピースキル		1	
			インソールスキル		1	
			スポーツ理学療法学Ⅰ		1	
			スポーツ理学療法学Ⅱ		1	
			口腔理学療法学		1	
			臨床バイオメカニクス	1		
			マニュアルセラピー		1	
			ウーマンズヘルスケア		1	
			予防理学療法学	1		
			理学療法特論		1	
	地域理学療法学	3	地域理学療法学	1		
			地域理学療法学演習	1		
			バリアフリー	1		
	臨床実習	20	見学実習	1		
			評価実習Ⅰ	3		
			評価実習Ⅱ	5		
			臨床実習アセスメントⅠ	1		
			総合臨床実習	8		
			臨床実習アセスメントⅡ	1		
			地域理学療法実習	1		
	卒業研究		卒業研究	4		
	(小計)	57		63	10	
	合計	101		115	49	

第 15 条第 10 項第 1 号別表 授業科目の種類および単位数
＜保健医療技術学部 作業療法学科＞

授業科目の名称				単位数	
				必修	選択
基礎分野	科学的思考の基礎・人間と生活・社会の理解	大学特別科目	人間共生論	2	
			新・文明の旅特講 a		2
			新・文明の旅特講 b		2
			新・文明の旅総合講義		2
			地球環境論Ⅰ		2
			地球環境論Ⅱ		2
			データサイエンス入門	2	
		心理学概論 物理学 ヒューマンバイオロジー 生命倫理 統計学 保健体育学演習Ⅰ 保健体育学演習Ⅱ 医療経済学 人間関係論 人間関係論演習 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ 海外短期フィールドワークⅠ（北米） 海外短期フィールドワークⅡ（アジア） 情報科学 社会学 アカデミックスキルズ		1	
				1	
				2	
				1	
				2	
					1
					1
					1
				1	
				2	
				2	
					2
				2	
				1	
	学部共通留学関係科目	海外セメスター語学研修 A			1
		海外セメスター語学研修 B			2
		海外セメスター語学研修 C			4
		海外セメスター語学研修 D			5
		海外語学研修 A			2
		海外語学研修 B			2
		海外語学研修 C			2
		海外語学研修 D			2
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学Ⅲ 解剖学Ⅳ 解剖学Ⅴ 解剖学実習 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学Ⅲ 生理学実習 運動学 人間発達学		1	
				1	
				1	
				1	
				1	
				1	
				1	
				1	
				1	
				1	
				2	
				1	
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	運動学実習 病理学 リハビリテーション概論 臨床医学内科 リハビリテーション内科 臨床医学整形外科 リハビリテーション整形外科 臨床医学神経内科 リハビリテーション神経内科 臨床医学小児科 臨床医学精神科 リハビリテーション精神科 臨床心理学 薬理学 救急医療・画像評価 栄養学		1	
				1	
				1	
				1	
				1	
				1	
				1	
				1	
				1	
				1	
				1	
				1	
				1	
				1	
	とリハビリテーションの理念	保健医療福祉 多職種連携論 リハビリテーション入門 公衆衛生学 社会福祉概論 医療リスクマネジメント		1	
				1	
				1	
				1	
				1	
				1	
				1	
				1	

授業科目の名称				単位数	
				必修	選択
専門分野	基礎作業療法学	作業療法概論		1	
		作業科学		1	
		基礎作業学演習 A		1	
		基礎作業学演習 B		1	
		基礎作業学演習 C			1
		作業分析学		1	
	作業	作業療法管理運営学		2	
		作業療法評価学概論		1	
		運動器作業療法評価学Ⅰ		1	
		運動器作業療法評価学Ⅱ		1	
		神経系作業療法評価学		1	
		発達期作業療法評価学		1	
	作業療法評価学	精神科作業療法評価学		1	
		高齢期作業療法評価学		1	
		動作分析学演習			2
	作業療法治療学	作業療法理論と実践		1	
		福祉用具適学		1	
		日常生活活動学		1	
		臨床作業療法Ⅰ		2	
		運動器作業療法学演習		1	
		精神科作業療法学演習Ⅰ		1	
		精神科作業療法学演習Ⅱ		1	
		発達期作業療法学演習Ⅰ		1	
		発達期作業療法学演習Ⅱ		1	
		神経系作業療法学演習Ⅰ		1	
		神経系作業療法学演習Ⅱ		1	
		高齢期作業療法学演習		1	
		内部障害作業療法学演習		1	
		義肢装具学		1	
		就労援助学演習		1	
		臨床作業療法Ⅱ		2	
		作業療法特講 A			1
		作業療法特講 B			1
		作業療法学演習			1
	地域作業療法学	臨床実習インテグレーションⅠ		1	
		臨床実習インテグレーションⅡ		1	
		臨床実習インテグレーションⅢ		1	
		地域作業療法学演習Ⅰ		1	
		地域作業療法学演習Ⅱ		1	
		地域作業療法学		2	
	臨床実習	見学・評価体験実習		4	
		評価実習		5	
		総合臨床実習Ⅰ		8	
		総合臨床実習Ⅱ		7	
	作業療法学研究	地域作業療法実習		1	
		作業療法研究法		1	
		研究計画法演習Ⅰ		1	
		研究計画法演習Ⅱ		1	
		卒業研究		2	

- 1 他学科・他学部の単位取得の上限は、30単位とし、基礎分野の科学的思考の基礎・人間と生活・社会の理解の科目の領域として扱う。
- 2 「新・文明の旅特講 a，b」は2年生、3年生も履修できる。

学則第 15 条第 10 項第 4 号別表 作業療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授業科目	単位数		備 考
				必修	選択	
基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	14	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目を含め、22 単位以上修得すること。
			新・文明の旅特講 a		2	
			新・文明の旅特講 b		2	
			新・文明の旅総合講義		2	
			地球環境論Ⅰ		2	
			地球環境論Ⅱ		2	
			データサイエンス入門	2		
			心理学概論	1		
			物理学	1		
			ヒューマンバイオロジー	2		
			生命倫理	1		
			統計学	2		
			保健体育学演習Ⅰ		1	
			保健体育学演習Ⅱ		1	
			医療経済学		1	
			人間関係論	1		
			人間関係論演習		1	
	学部共通留学関係科目		英語演習Ⅰ	2		
			英語演習Ⅱ	2		
			海外短期フィールドワークⅠ（北米）		2	
			海外短期フィールドワークⅡ（アジア）		2	
			情報科学	2		
			社会学		2	
			アカデミックスキルズ	1		
			海外セメスター語学研修 A		1	
			海外セメスター語学研修 B		2	
			海外セメスター語学研修 C		4	
			海外セメスター語学研修 D		5	
			海外語学研修 A		2	
			海外語学研修 B		2	
			海外語学研修 C		2	
			海外語学研修 D		2	
	(小計)	14		19	40	
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	12	解剖学Ⅰ	1		専門基礎分野において、必修科目 34 単位修得すること。
			解剖学Ⅱ	1		
			解剖学Ⅲ	1		
			解剖学Ⅳ	1		
			解剖学Ⅴ	1		
			解剖学実習	1		
			生理学Ⅰ	1		
			生理学Ⅱ	1		
			生理学Ⅲ	1		
			生理学実習	1		
			運動学	2		
			人間発達学	1		
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	14	運動学実習	1		
			病理学	1		
			リハビリテーション概論	1		
			臨床医学内科	1		
			リハビリテーション内科	1		
			臨床医学整形外科	1		
			リハビリテーション整形外科	1		
			臨床医学神経内科	1		
			リハビリテーション神経内科	1		
			臨床医学小児科	1		
			臨床医学精神科	1		
			リハビリテーション精神科	1		
			臨床心理学	1		
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	4	薬理学	1		
			救急医療・画像評価	1		
			栄養学	1		
			多職種連携論	1		
			リハビリテーション入門	1		
	(小計)	30	医療リスクマネジメント	1		
			社会福祉概論	1		
			公衆衛生学	1		
	(小計)	30		34	0	

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授業科目	単位数		備 考
				必修	選択	
専門分野	基礎作業療法学	5	作業療法概論 基礎作業学演習 A 基礎作業学演習 B 基礎作業学演習 C 作業科学 作業分析学	1 1 1 1 1	1	専門分野において、必修科目を含め、71 単位修得すること。
	作業療法管理学	2	作業療法管理運営学	2		
	作業療法評価学	5	作業療法評価学概論 運動器作業療法評価学Ⅰ 運動器作業療法評価学Ⅱ 神経系作業療法評価学 発達期作業療法評価学 精神科作業療法評価学 高齢期作業療法評価学 動作分析学演習	1 1 1 1 1 1 1	2	
	作業療法治療学	19	作業療法理論と実践 福祉用具適応学 日常生活活動学 臨床作業療法Ⅰ 運動器作業療法学演習 精神科作業療法学演習Ⅰ 精神科作業療法学演習Ⅱ 発達期作業療法学演習Ⅰ 発達期作業療法学演習Ⅱ 神経系作業療法学演習Ⅰ 神経系作業療法学演習Ⅱ 高齢期作業療法学演習 内部障害作業療法学演習 義肢装具学 就労援助学演習 臨床作業療法Ⅱ 作業療法特講 A 作業療法特講 B 作業療法学演習 臨床実習インテグレーションⅠ 臨床実習インテグレーションⅡ 臨床実習インテグレーションⅢ	1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1	1 1 1	
	地域作業療法学	4	地域作業療法学演習Ⅰ 地域作業療法学演習Ⅱ 地域作業療法学	1 1 2		
	臨床実習	22	見学・評価体験実習 評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 地域作業療法実習	4 5 8 7 1		
	作業療法研究		作業療法研究法 研究計画法演習Ⅰ 研究計画法演習Ⅱ 卒業研究	1 1 1 2		
	(小計)	57		69	6	
	合計	101		122	46	

〔第79条第2項第1号別表〕 指定科目の種類および単位数

〈介護福祉士養成指定科目〉（介護福祉士受験資格）

厚生労働省告示に定める科目			本学開講授業科目			
科目名			科目名	形態	単位数	時間
人間と社会	理人解間の	人間の尊厳と自立	人間共生論	講義	2	30
		人間関係とコミュニケーション	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	講義	2	30
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義	2	30
	社会の理解	社会の理解	社会保障Ⅰ	講義	2	30
			社会保障Ⅱ	講義	2	30
		選択（※） （7科目から120時間選択）	社会福祉の原理と政策Ⅰ＊	講義	2	30
			社会福祉の原理と政策Ⅱ＊	講義	2	30
			ソーシャルワークの基盤と専門職＊	講義	2	30
			ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）＊	講義	2	30
			貧困に対する支援＊	講義	2	30
			医学概論＊	講義	2	30
			日本国憲法＊	講義	2	30
介護と福祉	介護の基本	介護の基本	介護の基本A	講義	4	60
			介護の基本B	講義	4	60
			介護の基本C	講義	4	60
	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	講義	2	30
			コミュニケーション演習	演習	1	30
	生活支援技術	生活支援技術	生活支援技術A	演習	2	60
			生活支援技術B	演習	2	60
			生活支援技術C	演習	2	60
			生活支援技術D	演習	2	60
			生活支援技術E	演習	2	60
	介護過程	介護過程	介護過程A	講義	2	30
			介護過程B	演習	1	30
			介護過程C	演習	2	60
			介護過程D	演習	1	30
	介護総合演習	介護総合演習	介護総合演習A★	演習	1	30
			介護総合演習B★	演習	1	30
			介護総合演習C★	演習	2	60
	介護実習	介護実習	介護福祉実習A★	実習	4	120
			介護福祉実習B★	実習	4	150
			介護福祉実習C★	実習	6	180
こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみ	心理学概論Ⅰ	講義	2	30
			こころとからだのしくみA	講義	2	30
			こころとからだのしくみB	講義	4	60
	発達と老化の理解	発達と老化の理解	高齢者の理解	講義	2	30
			高齢者のからだと心理	講義	2	30
	認知症の理解	認知症の理解	認知症の基礎的理解	講義	2	30
			認知症と介護	講義	2	30
	障害の理解	障害の理解	障害の基礎的理解	講義	2	30
			障害と介護	講義	2	30
医療的ケア	医療的ケア	医療的ケア	医療的ケアの基礎的理解A★	講義	2	30
			医療的ケアの基礎的理解B★	講義	2	30
			医療的ケアの基礎的理解C★	講義	2	30

- 上記、学則第79条第2項第1号別表の指定科目は、選択科目（※）以外すべて必修科目とする。
- 選択（※）については、授業科目の名称に「＊」印の付いた授業科目から120時間分を選択して履修するものとする。
但し、「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ」「社会保障Ⅰ」「社会保障Ⅱ」「社会福祉の原理と政策Ⅰ」「社会福祉の原理と政策Ⅱ」を履修する場合は、Ⅰ・Ⅱの両方を履修すること。
- 「介護総合演習A」「介護総合演習B」「介護総合演習C」「介護福祉実習A」「介護福祉実習B」「介護福祉実習C」については、卒業単位に含めることはできない。
- ★印の科目は、A→B→Cの順で段階的に履修しなければならない。

学則第 42 条第 1 項別表

区 分	令和 6 年度入学者		
検 定 料	3 5, 0 0 0 円		
入 学 金	2 8 0, 0 0 0 円		
授 業 料 (年額)	経営学部	第 1 年次	8 7 6, 0 0 0 円
	人間学部	第 2 年次	8 8 2, 0 0 0 円
	外国語学部	第 3 年次	8 8 8, 0 0 0 円
		第 4 年次	8 9 4, 0 0 0 円
	保健医療技術学部	理学・作業・臨床	第 1 年次 9 7 0, 0 0 0 円
			第 2 年次 9 7 6, 0 0 0 円
			第 3 年次 9 8 2, 0 0 0 円
			第 4 年次 9 8 8, 0 0 0 円
		看護学科	第 1 年次 1, 0 1 0, 0 0 0 円
			第 2 年次 1, 0 1 6, 0 0 0 円
			第 3 年次 1, 0 2 2, 0 0 0 円
			第 4 年次 1, 0 2 8, 0 0 0 円
施 設 費 (年額)	経営学部		6 0, 0 0 0 円
	人間学部		6 0, 0 0 0 円
	外国語学部		6 0, 0 0 0 円
	保健医療技術学部		1 5 0, 0 0 0 円
維持管理費 (年額)	経営学部		1 7 0, 0 0 0 円
	人間学部		1 7 0, 0 0 0 円
	外国語学部		1 7 0, 0 0 0 円
	保健医療技術学部		2 7 0, 0 0 0 円
実 習 費 (年額)	経営学部		2 0, 0 0 0 円
	外国語学部		2 0, 0 0 0 円
	保健医療技術学部		2 2 0, 0 0 0 円
実験・実習費 (年額)	人間学部	コミュニケーション社会学科、児童発達学科、人間福祉学科	3 0, 0 0 0 円
	人間学部	心理学科	5 0, 0 0 0 円
新入生特別研修費		第 1 年次	1 2, 0 0 0 円

1. 保育士資格、幼稚園教諭免許、小学校教諭免許、中学教諭免許、高校教諭免許、社会福祉士受験資格、精神保健福祉士受験資格、介護福祉士受験資格、保健師受験資格の各課程履修者は、別途それぞれの履修費・実習費を納付するものとする。
2. 本学の同一年度入試において再受験する場合の検定料は、1 0, 0 0 0 円とする。大学入試センター試験利用入試の検定料は、1 5, 0 0 0 円とする。試験ごとの併願の詳細については別途定める。
3. 科目等履修生の登録料は 1 0, 0 0 0 円、受講料は 1 単位について 1 5, 0 0 0 円とする。
4. 聴講生の登録料は 1 0, 0 0 0 円、聴講料は 1 単位について 7, 5 0 0 円とする。
5. 経営学部・外国語学部の外国人留学生試験での入学者については、入学金・授業料の各 2 0 % を減免する。なお、経営学部編入学について、協定のある外国の大学からの入学の場合の学費については別途協定で定める。
6. 保健医療技術学部の外部実習における交通費、宿泊費、食費等専ら本人に係る費用は、各自負担とする。
7. 4 年間の在学期間を超えて修業する場合の授業料、維持管理費、実習費・実験実習費については、半年で卒業となるときは 4 年次の年額の半額をもって足るものとする。1 年間の在学を要するとき、4 年次の設定学費と同額とする。6 年次以降も同様の扱いとする。
8. 長期履修学生については、別途定める。
9. 保健医療技術学部の留年生に係わる学費については、別途定める。

学則第 4 2 条第 2 項別表

一部免除対象学費	2 年次入学者の免除額	3 年次入学者の免除額
施設費	所定の額の 4 分の 1	所定の額の 2 分の 1